情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
E−00	図面目録	——
E−01	電気設備工事　特記仕様書（1）	——
E−02	電気設備工事　特記仕様書（2）	——
E−03	配置図、付近見取図	S=1／1500
E−04	システム図	——
E−05	機器姿図	——
E−06	系統図	——
E−07	構内配電・通信線路　平面図	S=1／500
E−08	受変電設備　受電盤結線図　（情報メディアセンター棟）	——
E−09	受変電設備　動力盤結線図　（情報メディアセンター棟）	——
E−10	地下階平面図　（情報メディアセンター棟）	S=1／150

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
E−11	地下ピット・1階平面図　（本部講義棟）	S=1／200
E−12	地下ピット・1階平面図　（情報処理棟）	S=1／200
E−13	2・R階平面図　（情報処理棟）	S=1／200
E−14	太陽光パネル架台　参考図（1）	S=1／20
E−15	太陽光パネル架台　参考図（2）	S=1／20
E−16	太陽光パネル架台　参考図（3）	S=1／20

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　笹津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK　DRAW

TITLE　情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）
NAME　図面目録
DATE　2025. 01
SCALE　－（A2）　－（A3）
NO.　E　00／16

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ. 工 事 概 要

1　工事場所　　鳥取市若葉台北１丁目１番１号　公立鳥取環境大学

2　建物概要

番号	建物名称	構造・階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	情報メディアセンター棟	ＲＣ造３階	5082.73	(　　)項	
2	本部講義棟・情報処理棟	ＲＣ造３階	8675.15	(　　)項	
3				(　　)項	
4				(　　)項	
5				(　　)項	

3　工事種目　　◉（　印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
◉ 電灯設備	○	○					
● 動力設備							
● 電熱設備							
● 雷保護設備							
◉ 受変電設備	○						改造
● 電力貯蔵設備							
◉ 発電設備	○	○				○	
● 構内情報通信網設備							
● 構内交換設備							
● 情報表示設備							
● 映像・音響設備							
● 拡声設備							
● 誘導支援設備							
● テレビ共同受信設備							
● 監視カメラ設備							
● 駐車場管制設備							
● 防犯・入退室管理設備							
● 火災報知設備							
● 中央監視制御設備							
● 医療関係設備							
● 構内配電線路							
● 構内通信線路							
● テレビ電波障害防除設備							
● 機械設備工事							
● 建築工事							

（通信情報設備：構内情報通信網設備～火災報知設備）

4　設備概要　（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）
◉の付いたものを適用する。

	項目	特記事項
電灯設備	◉ 電気方式	幹線　● 単相３線式１００／２００Ｖ　● 直流２線式１００Ｖ 分岐　◉ 単相２線式（◉ １００Ｖ　● ２００Ｖ）　● 直流２線式１００Ｖ
	● 非常用照明器具	光源　● ＬＥＤ　● 蛍光灯　● 白熱灯　電源　● 電池内蔵形　● 電源別置形
	● 誘導灯	● 避難口　● 階段通路　● 廊下通路　● 室内通路
動力設備	● 電気方式	幹線　● 三相３線式２００Ｖ　● 単相２線式２００Ｖ　● 単相３線式１００／２００Ｖ 分岐　● 三相３線式２００Ｖ　● 単相２線式（● １００Ｖ　● ２００Ｖ）
雷保護設備	● 受雷部	● 突針　● 棟上げ導体　● その他金属体（　　）
	● 避雷導線	● 建築構造体利用　● 引下げ導線
	● 接地極	● 建築構造体利用　● 接地極埋設
受変電設備	● 電気方式	高圧　三相３線式　６．６ｋＶ 低圧　● 三相３線式２００Ｖ　● 単相３線式１００／２００Ｖ　● 単相２線式（● １００Ｖ　● ２００Ｖ）
	● 契約電力	改修工事　既存設備　●　　ｋＷ 新設工事　● １００ｋＷ未満　● １００ｋＷ以上５００ｋＷ未満　● ５００ｋＷ以上
	● 設備方式	● 屋内形　● 屋外形
	● 機器類	● キュービクル式配電盤（● ＰＦ形　● ＣＢ－１形　● ＣＢ－２形） ● 高圧スイッチギア、変圧器盤（ＣＢ－３形） 変圧器　三相　　ｋＶＡ、単相　　ｋＶＡ　● 油入　● モールド 主遮断器　● 限流ヒューズ　● ＶＣＢ

	項目	特記事項
電力貯蔵設備	● 直流電源装置	用途　● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用　● 非常用照明器具電源専用 蓄電池　● ＨＳ形鉛蓄電池　● ＭＳＥ形鉛蓄電池　●　　（　　Ａｈ）
	● 交流無停電電源装置（ＵＰＳ）	形式　● 据付によるＵＰＳ　● 簡易形ＵＰＳ 用途　● 電算機用　●
発電設備	● 自家発電装置	電気方式　三相３線式　● ６．６ｋＶ　● ２１０Ｖ 機器類　形　式　● キュービクル形　● 簡易形　● オープン形 発電機（　　ｋＶＡ以上）　原動機　● ディーゼル　● ガスタービン 防油堤　● コンクリート製　● 鉄板製（● 本工事　● 別途工事）
	◉ 太陽光発電装置	モジュール　◉ 結晶シリコン　● 薄膜　●
	● 風力発電装置	風車　● プロペラ形　●
通信情報設備	● 構内情報通信網設備	● 機器　● 配管のみ　● 配管及び配線
	● 構内交換設備	● 交換機　● 局線中継台　● 電話機　● ボタン電話装置　● 配管のみ　● 配管及び配線
	● 情報表示設備	● マルチサイン装置　● 出退表示装置　● 時刻表示装置
	● 映像・音響設備	● 増幅器　● スピーカー　● プロジェクタ　● スクリーン　● その他（　　）
	● 拡声設備	用　途　● 一般放送　● 非常放送　● 個別放送
	● 誘導支援設備	● 音声誘導装置　● 身体障害者用インターホン装置　● トイレ等呼出し装置 ● インターホン　● テレビインターホン　● ナースコール
	● テレビ共同受信設備	● アンテナ（● ＵＨＦ　● ＢＳ　● ＣＳ）　● ＣＡＴＶ
	● 監視カメラ設備	● カメラ　● ビデオモニタ　● タイムラプスＶＴＲ　● 配管のみ　● 配管及び配線
	● 駐車場管制設備	車両検知方式　● 光線式　● ループコイル式
	● 防犯・入退室管理設備	機器（● 本工事　※ 別途工事）　配管（※ 本工事　● 別途工事）　配線（● 本工事　※ 別途工事）
	● 自動火災報知設備	● 受信機（● Ｐ型　● Ｒ型）　● 副受信機　● 中継器　● 感知器　●
	● 自動閉鎖設備	連動制御器（　　回線　● 単独　● 火報受信機と一体）　感知器（● 共用　● 専用）
	● 非常警報設備	複合装置　● 一体形（※ 一般型　● 防雨型）　● 単独
	● ガス漏れ火災警報設備	受信機（　　回線　● 単独　● 火報受信機と一体　● ＬＰガス用　● 都市ガス用）
中央監視制御設備	● 形式	● 警報盤　● 表示操作盤　● 監視制御装置
	● 監視制御対象設備	● 動力設備　● 受変電設備　● 自家発電設備　● 防災設備　● 照明制御　● 給排水設備　● 空調設備
	● 伝送方式	● アナログ方式　● デジタル方式
構内配電線路	● 電気方式	三相３線式（● ６．６ｋＶ　● ２００Ｖ） ● 単相３線式１００／２００Ｖ　● 単相２線式（● １００Ｖ　● ２００Ｖ）
	● 施工方法	● 地中埋設式　● 架空線式
	● 外灯点滅方式	● 手動　● 自動（● タイマー　● 自動点滅器　● 中央監視）
構内通信線路	● 用途	● 電話用　● 時計拡声用　● 火災報知用　● インターホン用　● 情報通信網用　● ＣＡＴＶ
	● 施工方法	● 地中埋設式　● 架空線式
テレビ電波障害防除設備	● 対策方案	● 都市形ＣＡＴＶへの加入　● 共同受信方式（● 共同アンテナ　● 個内用アンテナ用）
	● 責任分界点	● 各戸の保安器一次側　●

Ⅱ. 特 記 仕 様

1　一　般　事　項

（１）現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、◉印の付いたものによる。
◉ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）
◉ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
◉ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準図」という。）
（２）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和４年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
（３）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2　特　記　事　項

（１）項目は番号に◯印の付いたものを適用する。
（２）特記事項のうち選択する事項は◉の付いたものを適用する。
◉の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。◉と※の付いた場合は共に適用する。
（３）一般共通事項のうち（　　）項は、● 建築　● 機械設備　工事仕様書による。

	項目	特記事項
一般共通事項	① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
	② 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第１編第１章第３節１．３．２によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
	③ 電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の場合においても、第１種電気工事士により施工を行う。
	4　工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
	⑤ 発生材の処理等	引渡しを要するもの　※ 無し　● 有り（　　） 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物　※ 無し　● 有り　● 本工事において調査を行う （● ＰＣＢ使用機器　● アスベスト含有設備資機材（● 配線用遮断機　●　　）） ＰＣＢ使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量ＰＣＢ分析　※ 無し　● 有り
	⑥ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 また、製造者等が定められている機材については、Ⅱ．機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	⑦ 機材の品質・性能証明	使用する機材が Ⅱ．機材による場合は、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２(b)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。 提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑧ 施工図等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編　平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。
	⑨ 完成写真等	

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ １部　●　部	◉要　● 不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ ２部　●　部	◉要　● 不要

	区分	名称	部数
	※ 完成図原図	完成図　◉ 原紙　◎ ＣＡＤデータ　◎ ＰＤＦデータ 施工図　◉ 原紙　◉ ＣＡＤデータ　◉ ＰＤＦデータ	１部
⑩ 完成図等	※ 完成図　２つ折製本	◎ 完成図　◎ 完成図（縮小版） ◉ 施工図	※ ２部 ●　部
	※ 完成図書 ※ Ａ４版市販ファイル ●・ Ａ４版黒表紙製本	◉ 完成図（縮小版） ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書	※ ２部 ●　部
	※ 保守用説明書 Ａ４版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ ２部 ●　部
	※ 保証書		１部
	※ 官公署届出書類		１部

●　・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

⑪ 他工事との取合い

他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※
	スリーブ・箱入	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの枠枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●
	補強	●	●	※
● ＣＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●
	補強	●	●	※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びピット（蓋を含む）		●	●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	※	●
● テレビアンテナ	基礎	●	●	※
	アンカーボルト	※	●	●
● 天井点検口		●	●	※
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	●	●
	屋上設置	●	●	※

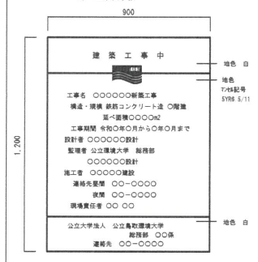
⑫ 工事用電力・水・その他

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

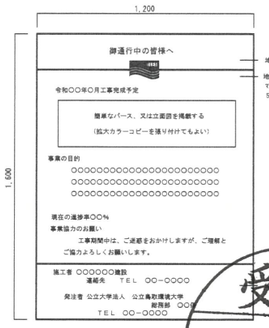
⑬ 表示板

設ける。（寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する）

※　工事表示板



●　お願い表示板



記入要領
1．書体は角ゴシックとする。
2．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

⑭ 足場

足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基発第0424001号平成21年４月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　笹津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
笹津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025. 01	E 01/16
		NAME 電気設備工事　特記仕様書（１）	SCALE　－（A2）　－（A3）	

一般共通事項

⑮ 工事用仮設物　構内につくることが ※ できる　● できない

16 土工事　埋め戻し土　※ 根切土の中の良質土　● 山砂の類（　　　）　● 真砂土（　　　）
建設発生土の処理　● 構外に搬出し適切に処理　※ 構内敷きならし　● 構内の指示する場所に堆積

⑰ 電線類　本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。
ＥＭ電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
通信ケーブルでＪＣＳ規格にない対数のケーブルはＪＣＳ規格に準じたものとする。
盤内配線はＥＭ電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。
ハーネスジョイントボックス用ＯＡタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

⑱ 電線本数・管路等　分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

⑲ 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ　メッキ付着量 ３００g/㎡以上とする。（※ 屋外　●　　　）

20 露出配管の塗装　塗装する部分　● 居室、廊下等　● 機械室　● 屋外　●

21 波付硬質合成樹脂管(FEP)　波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

㉒ フラッシュプレートの材質　◉金属製（ステンレス、新金属も含む）　● 樹脂製

23 カバープレートの用途別表示　シール等を貼付する。

24 地中箱　蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。

25 耐震施工　設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（平成８年版・建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。

１）設計用水平地震力
機器の重量[ｋＮ]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	● 特定の施設 重要機器	● 特定の施設 一般機器	● 一般の施設 重要機器	● 一般の施設 一般機器
上層階注,屋上及び塔屋	機　器	２.０	１.５		１.０
	防振支持の機器		２.０		１.５
	水　槽　類		１.５		１.０
中間階	機　器	１.５	１.０		０.６
	防振支持の機器		１.５		１.０
	水　槽　類		１.０		０.６
地下及び１階	機　器	１.０	０.６		０.４
	防振支持の機器		１.０		０.６
	水　槽　類	１.５			

注）上層階の定義は次による。　※水槽類には燃料小出槽を含む。
２～６階建：最上階、７～９階建：上層２階、１０～１２階建：上層３階、１３階以上：上層４階
重要機器（● 配電盤　● 非常用発電装置　● 交換機　● 直流電源装置　● ＵＰＳ装置
● 火災報知受信機　● 中央監視制御装置　●　　　）

２）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

26 接地極　接地極の材料は次による。

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極
● 共同接地	ＥＡＥＤ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● 共同接地	ＥＡＥＣＥＤ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● Ａ種	ＥＡ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ×２連－２組
● Ｃ種	ＥＣ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● Ｄ種	ＥＤ	１００Ω以下	ＥＢ×１
● 雷保護設備用	ＥＬＡ	Ω以下	● ＥＰ－０.６×２ ● ＥＢ×　連－　組
● 高圧避雷器	ＥＬＨ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● 交換機用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ×３連－１組
● 通信用	ＥＡｔ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● 通信用	ＥＤｔ　及び　ＥＤａ	１００Ω以下	ＥＢ×１
● 電話引込口の保安器用	ＥＬｔ	１００Ω以下	ＥＢ×１
● 測定用	Ｅｏ	－	ＥＢ×１

（連結又は単独の場合、ＥＢはＤ＝１４　Ｌ＝１５００　または　Ｗ＝４０　Ｌ＝１２００とする）
（測定用の場合、ＥＢはＤ＝１０　Ｌ＝１５００　または　Ｗ＝３０　Ｌ＝１２００とする）

㉗ 屋上、屋側の支持金物等　ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

28 結露防止　外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

29 アスベスト含有建材の処理　建築改修標準仕様書 ９章 環境配慮改修工事 １節 アスベスト含有建材の処理工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。
● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はＪＩＳ Ａ １４８１「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
（測定時期：　　測定場所：　　測定点：　　）
● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（　　　）

㉚ 補修など　工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

㉛ はつり　既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

㉜ はつり工事における非破壊検査　探査方法　※電磁誘導式　● 放射線透過検査　●

33 あと施工アンカー　１）施工後確認試験　※ 行わない　● 行う
試験方法　引張試験機による引張試験
確認強度　対象機器ごとのアンカーボルト１本に作用する引抜き力以上
試験箇所数　１施工単位に対し１本以上
対象機器　● 配電盤　● 発電装置　● 直流電源装置　● 太陽光発電装置

34 室内空気中の化学物質の濃度測定　実施する。

㉟ 火災保険等　工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで［概ね工期＋21日］とする。）

36 鳥取県公共事業環境配慮指針　※ 対象工事

37 建築物省エネ法　※ 対象工事

① 電灯設備

1 照明器具　１）ＬＥＤの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
ＬＥＤの光源色　（※協議による　● 昼白色　● 電球色）

2 一般照明の照度測定　測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

3 非常用照明の照度測定　※ 設置した各部屋２箇所以上　●

4 照明制御の照度測定等　明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定時期　１００%点灯時（※ 夜間　● 昼間）
調光制御点灯時（※ 夜間　※ 昼間）

2 動力設備

1 機器への接続　※ 電動機などへの接続は本工事とする。　● 別途工事

3 雷保護設備

1 大地抵抗率の測定　● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。

2 外部雷保護設備接地システム　● 構造体利用接地極　● Ａ型接地極　● Ｂ型接地極

④ 受変電設備

1 変圧器移動車輪　７５ｋＶＡ以上に取付。

2 デマンド監視装置　● 本工事　● 別途工事

3 盤内照明　前・後に設置する。

5 電力貯蔵設備

1 交流無停電電源装置（ＵＰＳ）　停電補償時間（　　分）
方式（● 常時インバータ給電方式　● ラインインタラクティブ方式　● 常時商用給電方式）

⑥ 発電設備

1 自家発電装置
● ディーゼル発電装置
● ガスエンジン発電装置
● ガスタービン発電装置
● 熱併給発電装置
● 燃料電池発電装置

運転時間（　　ｈ）　系統連系（● 高圧連系　● 高圧受電低圧みなし連系　● 低圧連系　● 無）
出力（　　ｋＷ）　配電盤外箱（● 有　● 無）
保安装置（重故障項目特記 ● 有　● 無）　外部用端子（● 要　● 不要）
減圧水槽及び初期注水槽の材質（● 鋼板製　● ステンレス鋼板製）
オイルタンク（● 地下　● 屋内）
据付：機械設備工事標準図（● 施工３０、３２（タンク室無し）　● 施工３１、３３（タンク室有り））
燃料小出槽（　　ℓ）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。
材質（● 鋼板製　● ステンレス製）
燃料油等（● 灯油　● 軽油　● 重油　● 燃料ガス（　　））
排気系統配管断熱材の厚さ（　　mm）　ばい煙測定口（● 設ける　● 設けない）
排気ガスに含まれる窒素酸化物（　　以下）　運転音（　　ｄＢ以下）

② 太陽光発電装置　系統連系（◉高圧連系　● 高圧受電低圧みなし連系　● 低圧連系　● 無）
公称最大出力（21.21 ｋＷ）　耐風速（32　ｍ／ｓ）
パワーコンディショナ（三相 3 線式　200 Ｖ）　定格容量（25　ｋＷ）
自立運転機能（● 有　◉無）
表示装置（◉有　● 無）　方式（※ 液晶　●　　）

3 風力発電装置　系統連系（● 高圧連系　● 高圧受電低圧みなし連系　● 低圧連系　● 無）　定格出力（　　ｋＷ）

7 構内交換設備

1 交換機　局線応答方式（● 局線中継台方式　● 分散中継台方式　● ダイヤルイン方式
● ダイレクトインダイヤル方式　● ダイレクトインライン方式）
停電補償時間（　　分）

2 保安器用接地　※ 本工事　● 別途工事

3 壁付電話機との接続　※ モジュラージャック　● 電話用プレート

4 回線数　内線　／　／　回線　局線　／　／　回線（現用／実装／容量）

5 電話機　● 一般電話機　　台　● 多機能電話機　　台　● ファクシミリ　　台
● デジタルコードレス電話機　　台　● ＩＰ電話機　　台

6 電話機への配線　卓上電話機１台につき次のものを見込む。
● ボタン電話機（・EM-BTIEE 0.4－2P　●　　）（※ １５ｍ　●　　）
● 内線電話機（・EM-TIEF 0.65－2C　● TIVF 0.65－2C）（※ １５ｍ　●　　）
● 多機能電話機（・EM-BTIEE 0.4－2P　●　　）（※ １５ｍ　●　　）
● ＩＰ電話機（・EM-UTP 0.5－4P　●　　）（※ １５ｍ　●　　）

8 情報表示設備

1 マルチサイン装置　イメージスキャナ（● 設ける　● 設けない）

2 出退表示装置　制御装置（● 壁掛形　● 埋込形　● 据置形）
呼出機能（● 有　● 無）　方式（● 発光ダイオード　● 液晶　●　　）

3 時刻表示装置　親時計（・●壁掛形　　回線　● ラック形　　回線）
太陽電池式屋外時計（点灯時間　　ｈ　点灯保証日数　　日）

9 映像音響設備

1 プロジェクタ　光出力（● Ⅰ形　● Ⅱ形　● Ⅲ形）　解像度（● Ａ形　● Ｂ形　● Ｃ形）
コントラスト比（● Ｘ形　● Ｙ形）

10 拡声設備

1 増幅器　形式（● 卓上形　● ラック形）　定格出力（　　Ｗ）　性能（● Ｈｉ形　● Ｌｏ形）
● 増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。

11 誘導支援

1 音声誘導装置　検出方式（● 磁気方式　● 無線方式　● 画像認識方式）

12 火災報知設備

1 自動火災報知設備　受信機（●　型　級　回線（蓄積型）　● 複合形　● 単独形）

2 自動閉鎖設備　● 防火戸用（※ ラッチ式　● 電磁式）
● 防煙ダンパー用（※ 電動復帰　● 手動復帰）
● 防火シャッター用（※ 別途工事　● 本工事）

3 ガス漏れ火災警報設備　検知器（● 天井取付形　● 壁取付形）

13 構内配電線路

1 施工方法　埋設深さ　※ ＧＬ－３００以上、舗装のある場合は路盤下－３００以上とする。
● ＧＬ－６００以上（● 車路　● 高圧配線　● 幹線　●　　）

2 地中箱　ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。

3 高圧負荷開閉器　● 閉鎖形（● 軽耐塩形　● 重耐塩形）　● 地絡継電器付（※ 方向性　● 無方向性）
● 避雷器内蔵
※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。

4 高圧ケーブルの端末部　高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。

5 高圧ケーブルの屋外端末処理　● 一般形　● 耐塩形

6 標識シート　※ 高圧　● 低圧

7 照明用ポール　照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

14 構内通信線路

1 施工方法　埋設深さ　※ ＧＬ－３００以上、舗装のある場合は路盤下－３００以上とする。
● ＧＬ－６００以上（●　　●　　）

2 地中箱　ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。

3 標識シート　● データ回線　● 電話　● ＣＡＴＶ　●

15 テレビ電波受信障害調査

1 調査仕様　図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本ＣＡＴＶ技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。

2 テレビ電波受信障害調査時期　※ 事前　● 中間　※ 事後

3 受信する受信波及び地点数
中継局　波：　地点
中継局　波：　地点

4 報告書提出部数　※ 事前　３部　● 中間　部　※ 事後　３部

16 その他

① 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高３ｍ以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

	名　称	測　点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
電灯	分電盤・ＯＡ盤・実験盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	スイッチ	〃	1,300
	〃（多機能トイレ）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（台上）	台上～中心	150
	〃（土間）	床上～中心	800～1,300
	〃（車椅子用）	〃	900
	ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
	〃（踊場）	〃	2,000～2,500
	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ	〃	1,300
構内交換	端子盤	床上～下端	300
	保安器箱	天井下～上端	200
	壁付アウトレット	床上～中心	300
	〃（和室）	〃	150
電気時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
	子時計	〃	天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	〃	1,300

	名　称	測　点	取付高(mm)
表示	表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信器	〃	1,300
	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
	受付押ボタン（一般）	〃	1,300
	電源箱	床上～下端	300
誘導支援	外部受付用インターホン(子機)	標準図による	
	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300
	壁付押ボタン(多機能トイレ)	〃	900
	壁付押ボタン(多機能トイレ) 床転倒時用	〃	300
テレビ共同受信	機器収容箱	天井下～上端	200
	テレビ端子	床上～中心	300
	〃（和室）	〃	150
			1,500
火災報知	受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	〃	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	ベル	天井下～上端	200
	表示灯	〃	200
ガス検知	ガス漏れ中継器	天井下～中心	300
	検知器（都市ガス）	天井下～下端	300
	〃（ＬＰガス）	床上～上端	300

2　工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ．機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による。
ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

㈱永井電機工業所	㈲平木電機産業
小林制電㈲	㈱富士オートメーション
勝英産業㈱	㈲増岡電機製作所

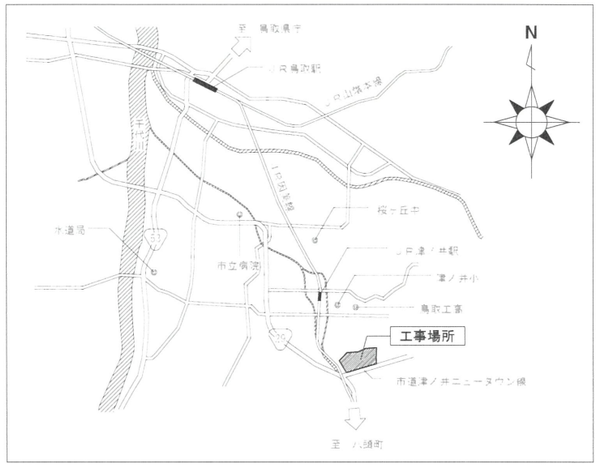
受付 '25.1.27 公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所

一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士 森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士 箆津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK 箆津　DRAW 川合

TITLE 情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）
NAME 電気設備工事　特記仕様書（２）
DATE 2025.01
SCALE －（A2）－（A3）
NO. E 02/16



付近見取図　NoScale

概略工事工程表

工　種	【令和７年】								【令和８年】	
	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月
準備工・検査	契約　調査、準備									片付清掃・完成検査
材料 発注手配			パワーコンディショナー納期(概ね４カ月)							
太陽光パネル設置 配管配線工事							施工			

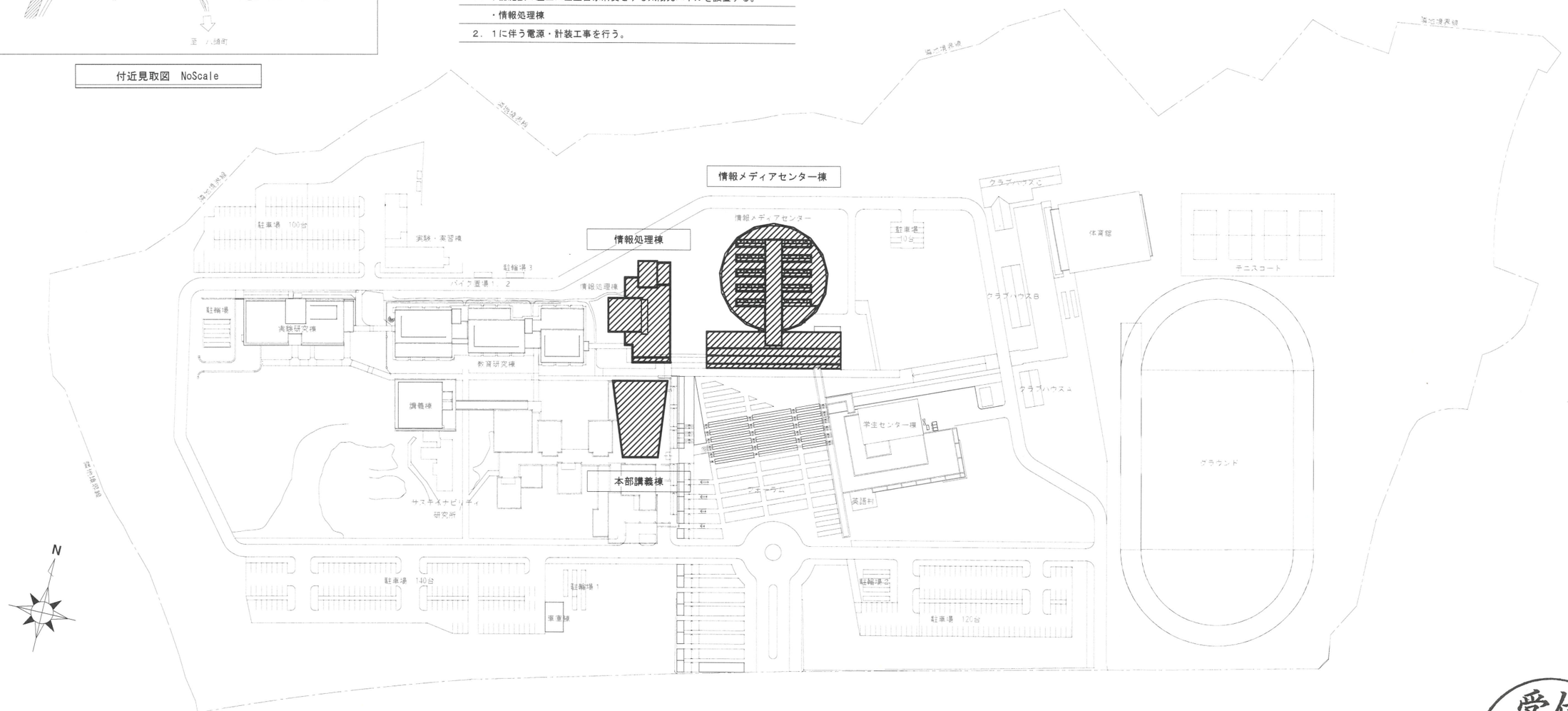
※２０２５年１月現在

工事概要

１．下記施設の屋上に全量自家消費とする太陽光パネルを設置する。

・情報処理棟

２．１に伴う電源・計装工事を行う。



配置図　S＝1／1500

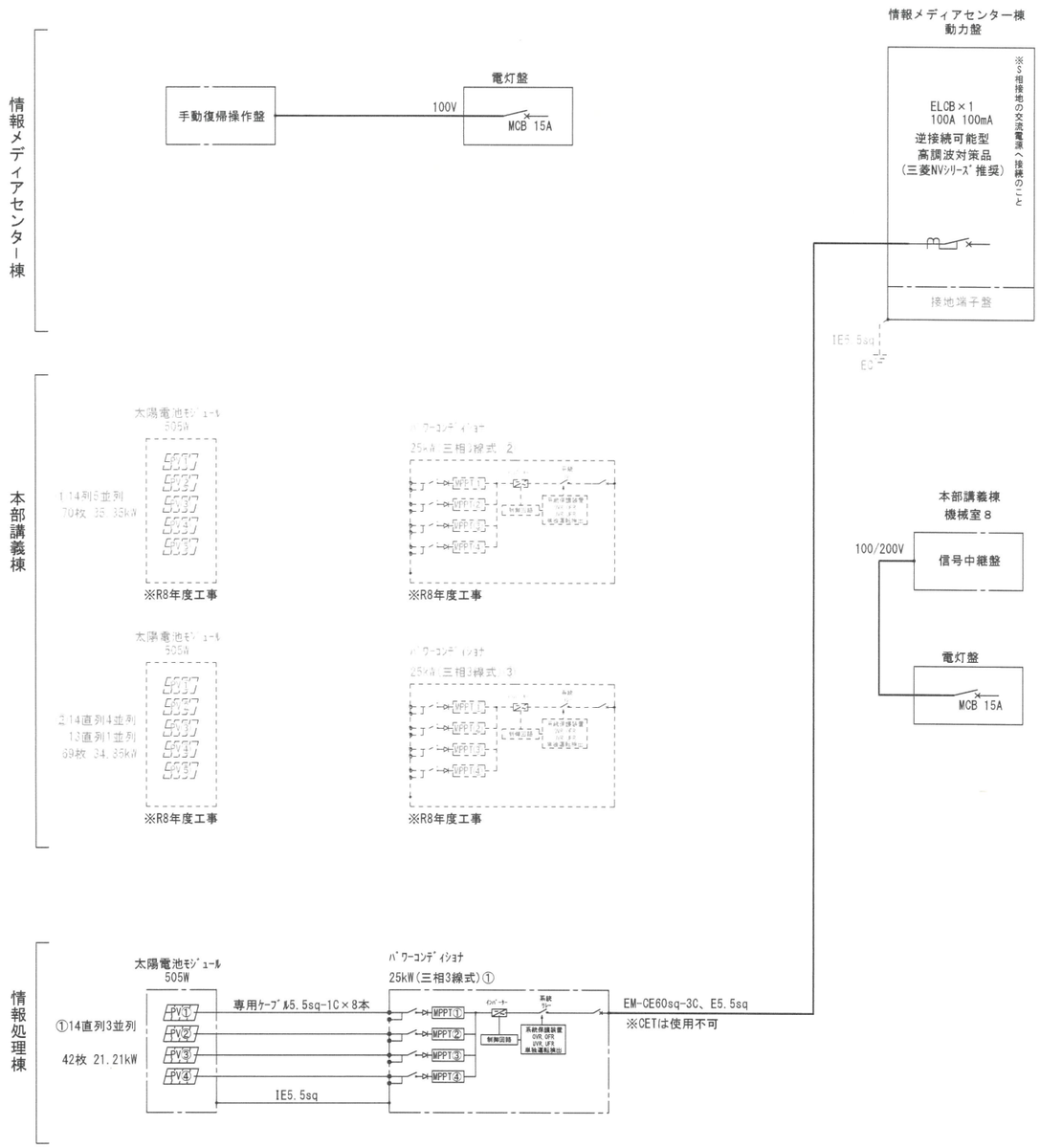
：対象箇所

受付
25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　熊津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	DATE	2025. 01	NO.	E 03 / 16
熊津	川合	NAME	配置図、付近見取図	SCALE	1／1500 (A2) 1／2113 (A3)		

強　電



R7年度工事のみ
情報処理棟

太陽電池：　505 W/枚
設置枚数：　42枚
太陽電池容量　：21.21kW

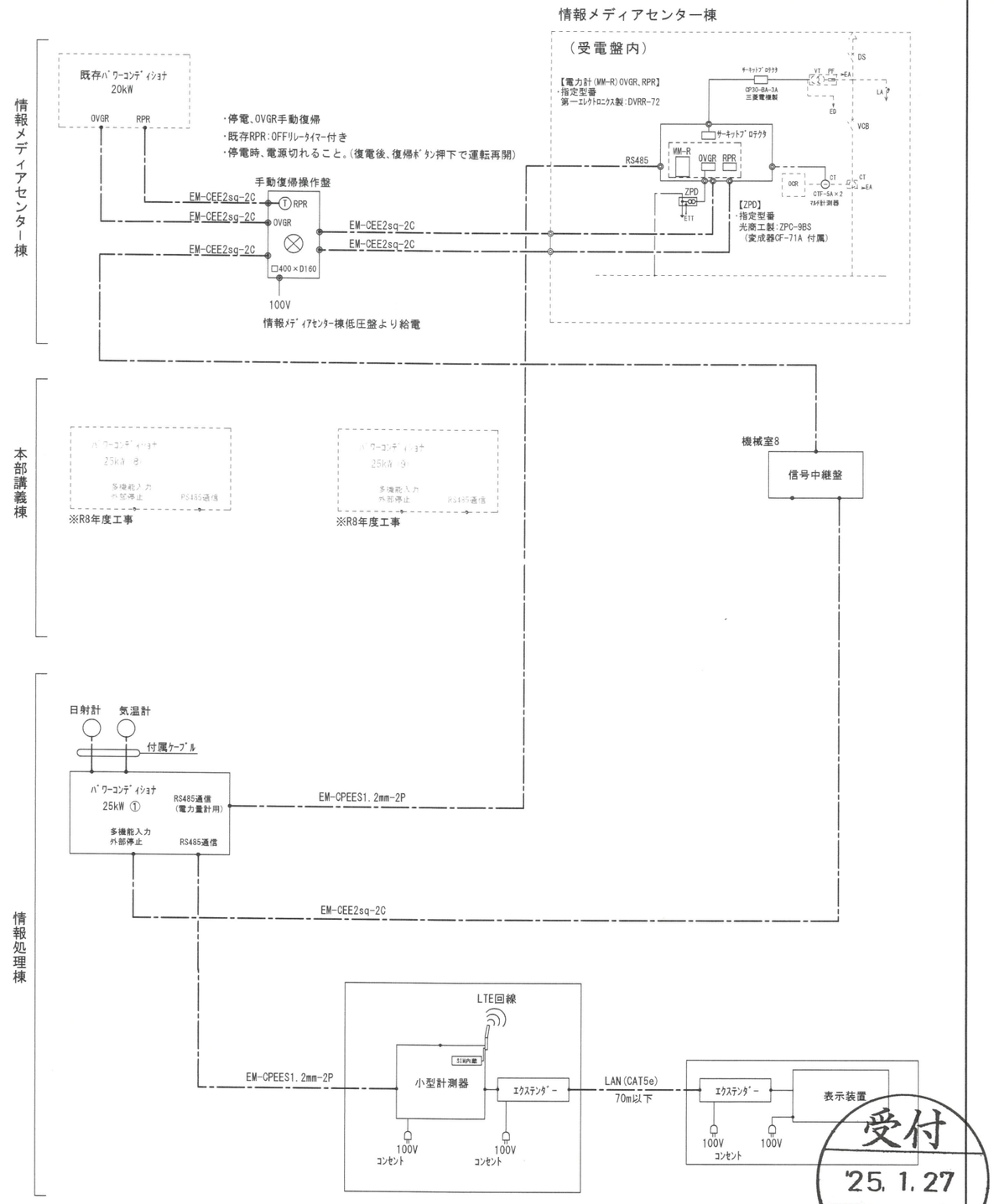
R8年度工事のみ
本部講義棟

太陽電池：　505 W/枚
設置枚数：　139枚
太陽電池容量　：70.195kW

R7年度工事・R8年度工事
全体システム

太陽電池：　505 W/枚
設置枚数：　181枚
太陽電池容量　：91.405kW
システム出力容量：75kW

制　御



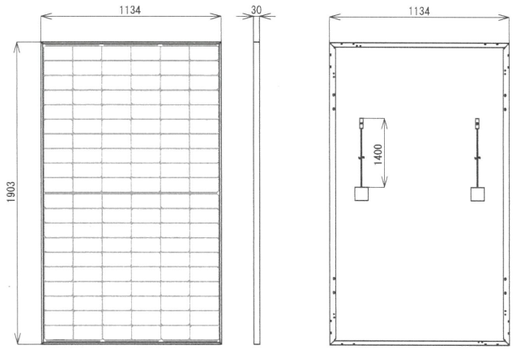
※パワーコンディショナ、気温計は直射日光の当たらない場所へ設置のこと。
※RS485通信ケーブルの総距離は1000m以内のこと。

受付
'25.1.27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　筧津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
筧津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025.01	E 04 / 16
		NAME システム図	SCALE － (A2) － (A3)	

太陽電池モジュール



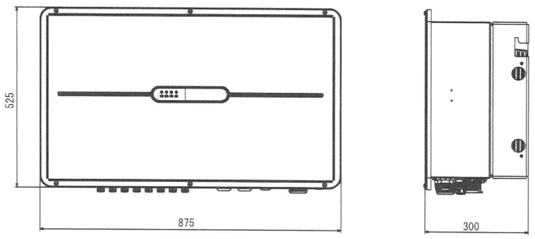
種　類	：	単結晶シリコン太陽電池
容　量	：	505W
最大出力動作電圧	：	36．60V
最大出力動作電流	：	13．81A
質　量	：	24．2kg／枚
モジュール変換効率	：	23．4%

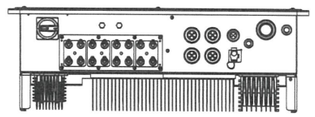
最大風圧荷重	：	正圧5400Pa／負圧2400Pa
最大積雪荷重	：	正圧5400Pa
火災等級	：	Class C
感電保護クラス	：	Class Ⅱ

パワーコンディショナ

参考形式：PCS（多機能品） CEPT-P3AB2025B

逆潮流なし_自家消費負荷追従制御

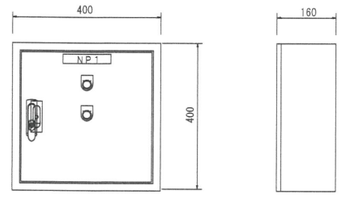




構造	：	壁掛型
入力回路数	：	8回路（MPPT4回路）
定格容量	：	25kW
塗装色	：	マンセルN9．5
重　量	：	57kg
単独運転検出機能	：	ステップ注入付周波数フィードバック方式
準拠規格	：	
系統連系規定JEAC9701-2019[2023年追補版（その1）]		

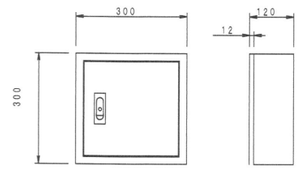
※設置環境：海岸及び汽水域から500m以上を超える屋外設置。

手動復帰操作盤



構造　：　壁掛型（屋内用）
材質　：　鋼板製

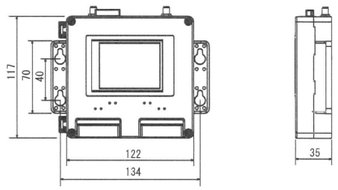
信号中継盤



構造　：　壁掛型（屋内用）
材質　：　鋼板製

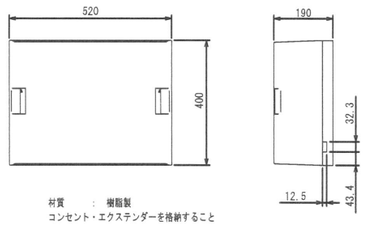
計測監視装置

小型計測器



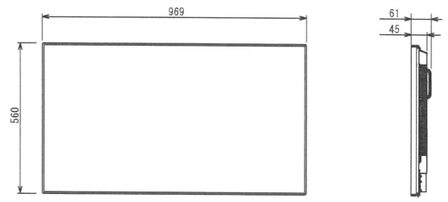
構造　：　壁掛型

収納ケース



材質　：　樹脂製
コンセント・エクステンダーを格納すること

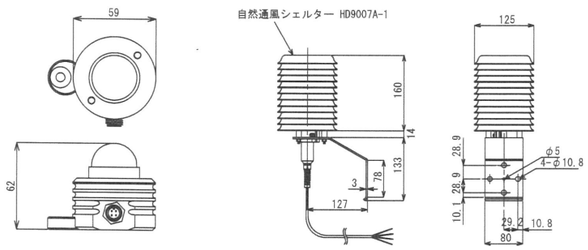
表示装置



サイズ　：43型
質　量　：約9．0kg

壁掛け金具・エクステンダー共

日射計・気温計



日射計

動作温度	：	−40～+80℃
代表感度	：	7μV／(W／㎡)
保護等級	：	IP67
重量	：	0．2kg

気温計

センサ動作温度	：	−40～+80℃
精度	：	JIS C1604：2013 クラスA準拠
外径	：	125㎜
重量	：	0．64kg

受付
'25．1．27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　筧津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

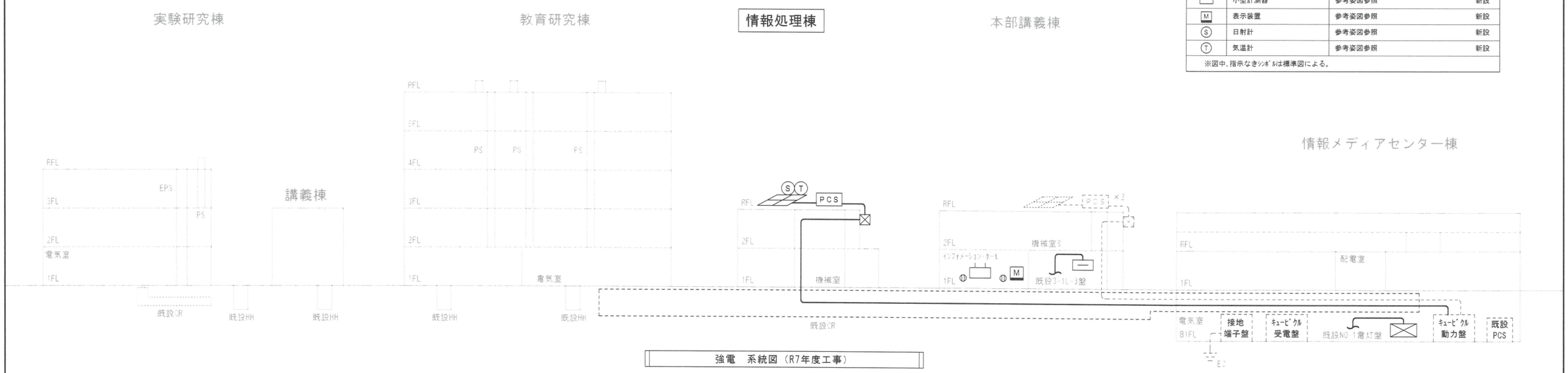
CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
筧津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025．01	E 05／16
		NAME 機器姿図	SCALE − (A2)　− (A3)	

注　記

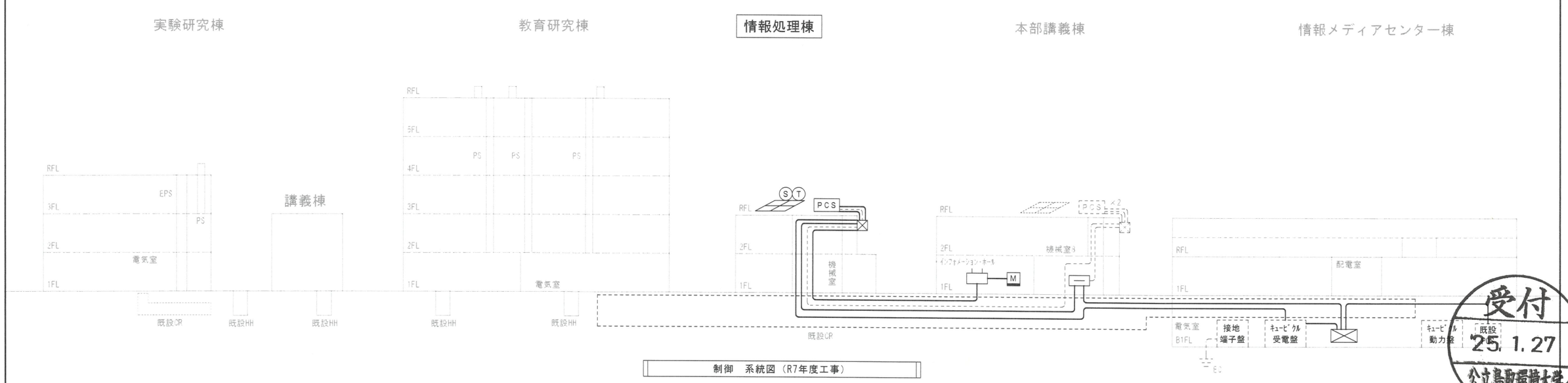
1. 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
2. 図中、太線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙを新設すること。
3. 図中、細線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙは将来用（R8年度工事）を示す。

記号	名称	摘要	
PCS	パワーコンディショナ	参考姿図参照	新設
—	信号中継盤	参考姿図参照	新設
⊠	手動復帰操作盤	参考姿図参照	新設
▭	小型計測器	参考姿図参照	新設
M	表示装置	参考姿図参照	新設
Ⓢ	日射計	参考姿図参照	新設
Ⓣ	気温計	参考姿図参照	新設

※図中、指示なきｼﾝﾎﾞﾙは標準図による。



強電　系統図（R7年度工事）

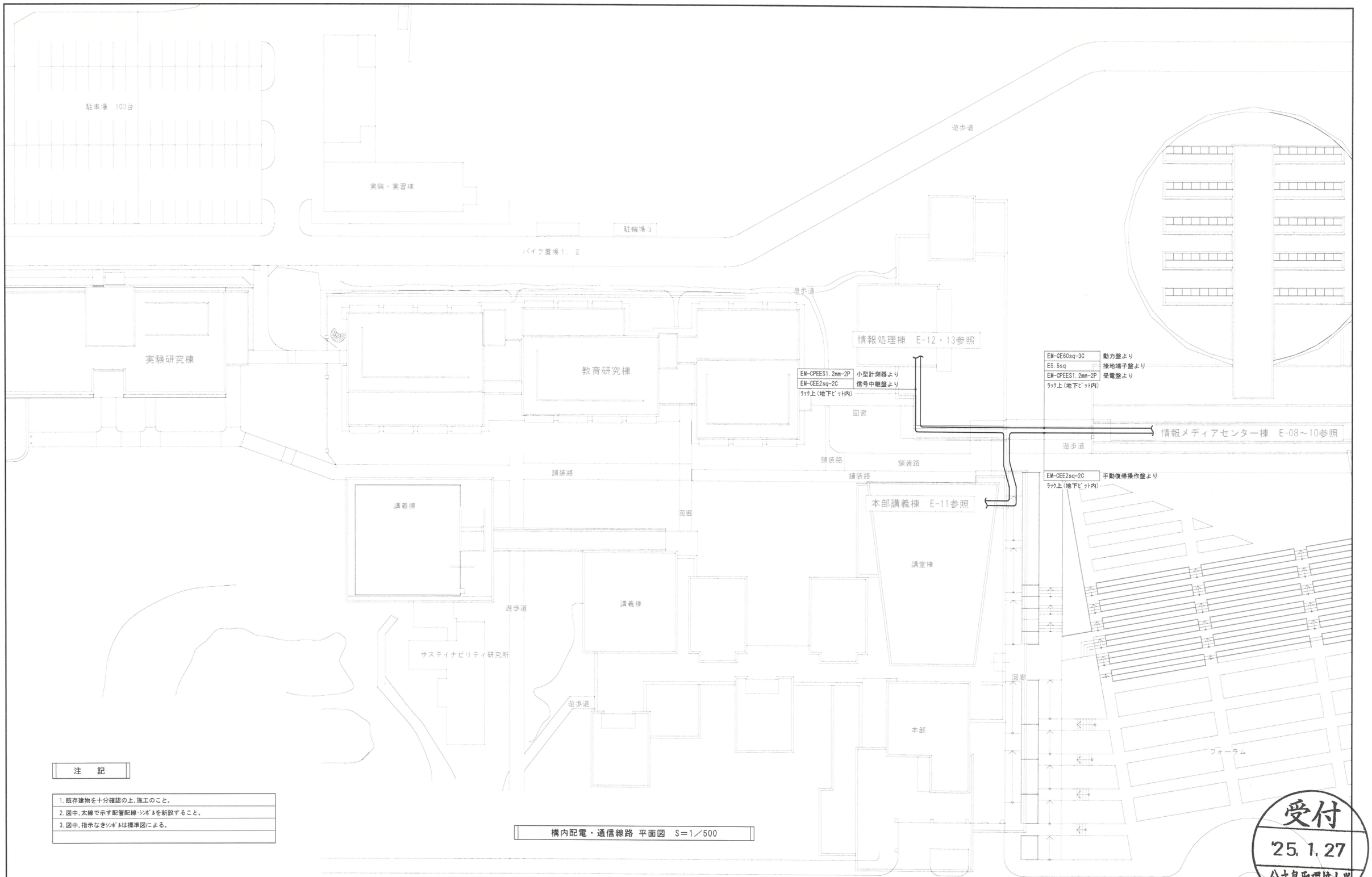


制御　系統図（R7年度工事）

受付
25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　笹津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
笹津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025. 01	E 06/16
		NAME 系統図	SCALE – (A2) – (A3)	



構内配電・通信線路 平面図 S=1／500

注 記

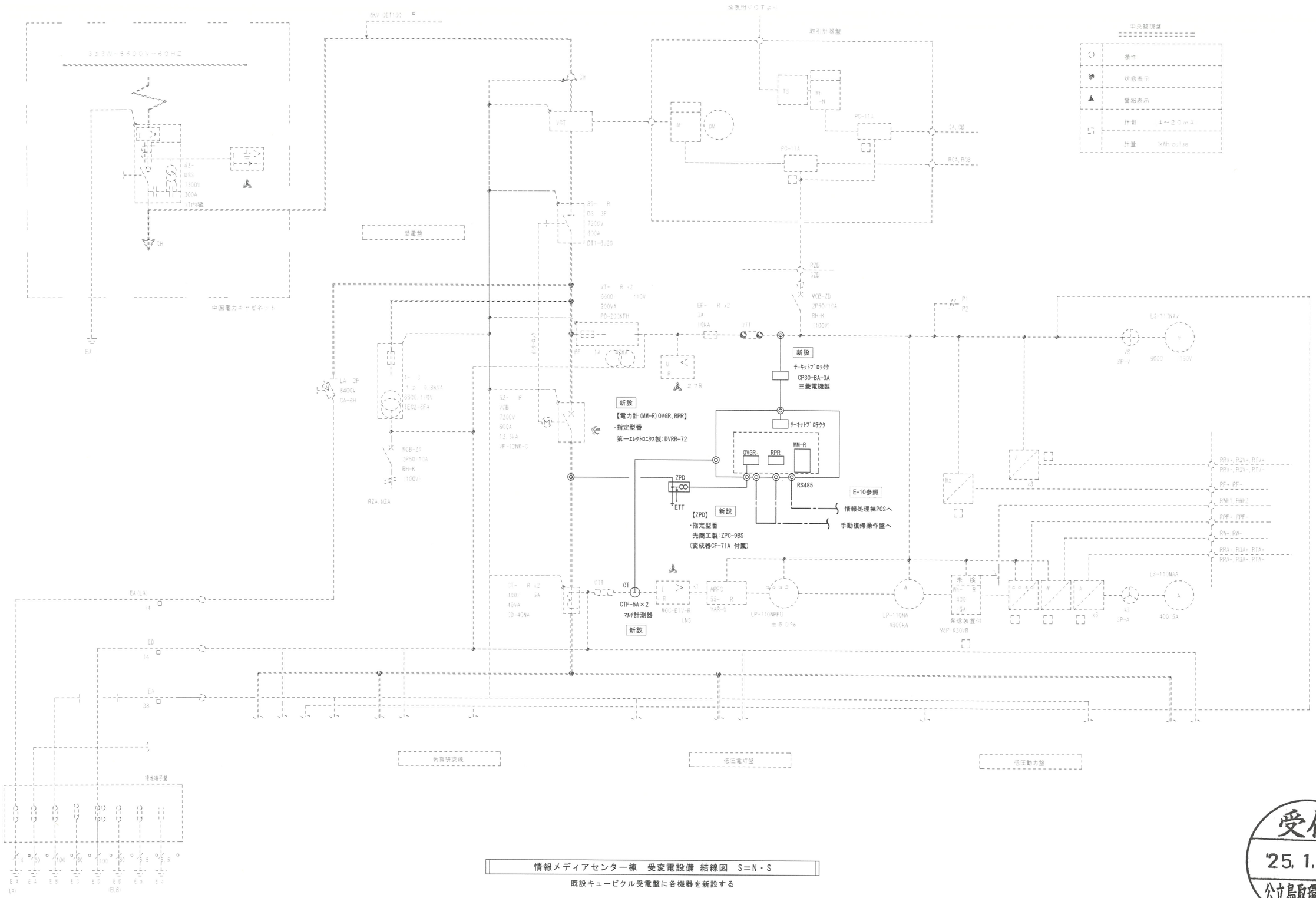
1. 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
2. 図中、太線で示す配管配線ｼﾝﾎﾞﾙを新設すること。
3. 図中、指示なきｼﾝﾎﾞﾙは標準図による。

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号
建築設備士 笹津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
笹津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025. 01	E 07/16
		NAME 構内配電・通信線路 平面図	SCALE 1／500 (A2) 1／704 (A3)	

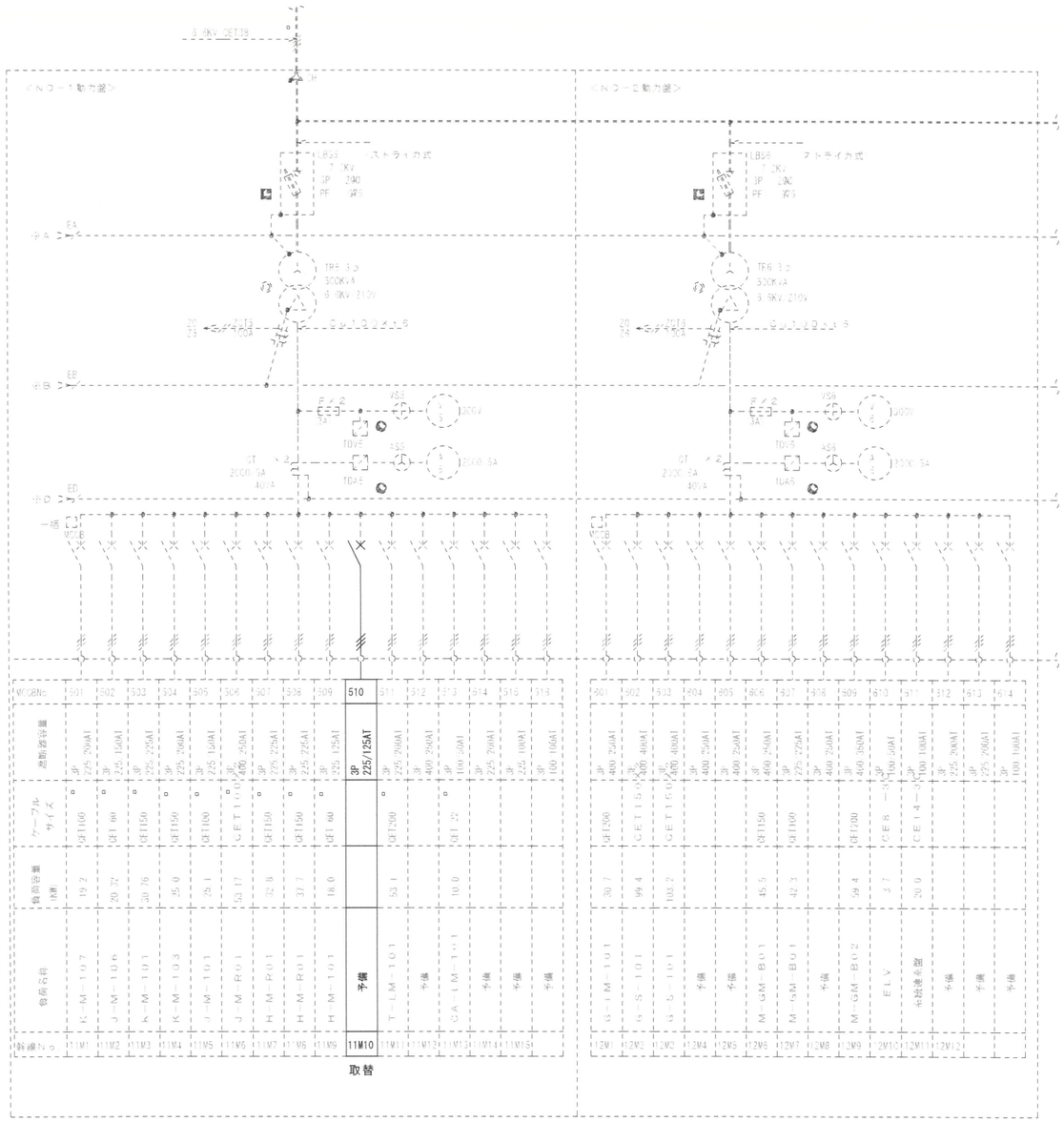


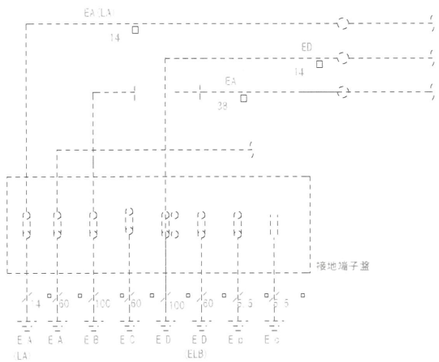
情報メディアセンター棟　受変電設備 結線図　S=N・S

既設キュービクル受電盤に各機器を新設する

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

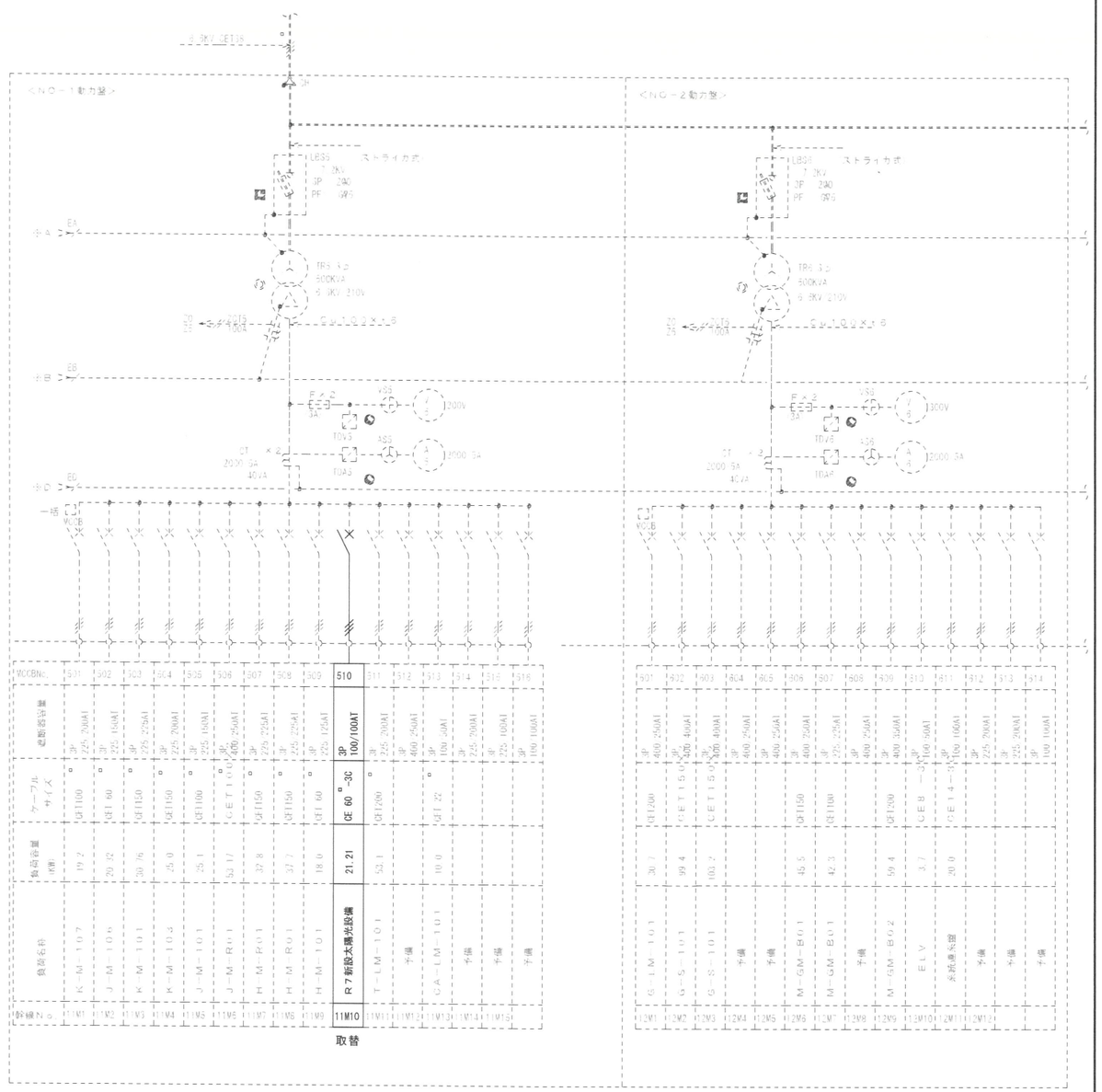
Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所／建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 笹津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK 笹津	DRAW 川合	TITLE 情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	DATE 2025. 01	NO. E 08/16
				NAME 受変電設備　受電盤結線図（情報メディアセンター棟）	SCALE － (A2) － (A3)	

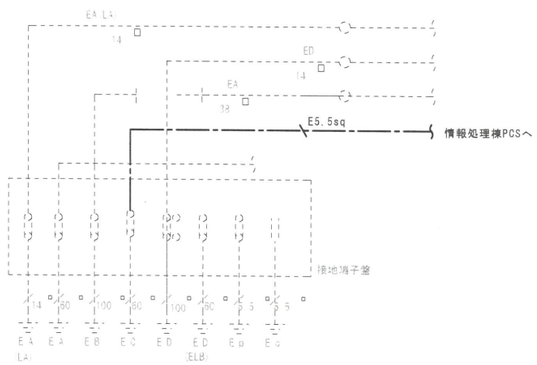




情報メディアセンター棟　受変電設備 結線図（改修前）　S=N・S

既設キュービクルの開閉器×1を取替える





情報メディアセンター棟　受変電設備 結線図（改修後）　S=N・S

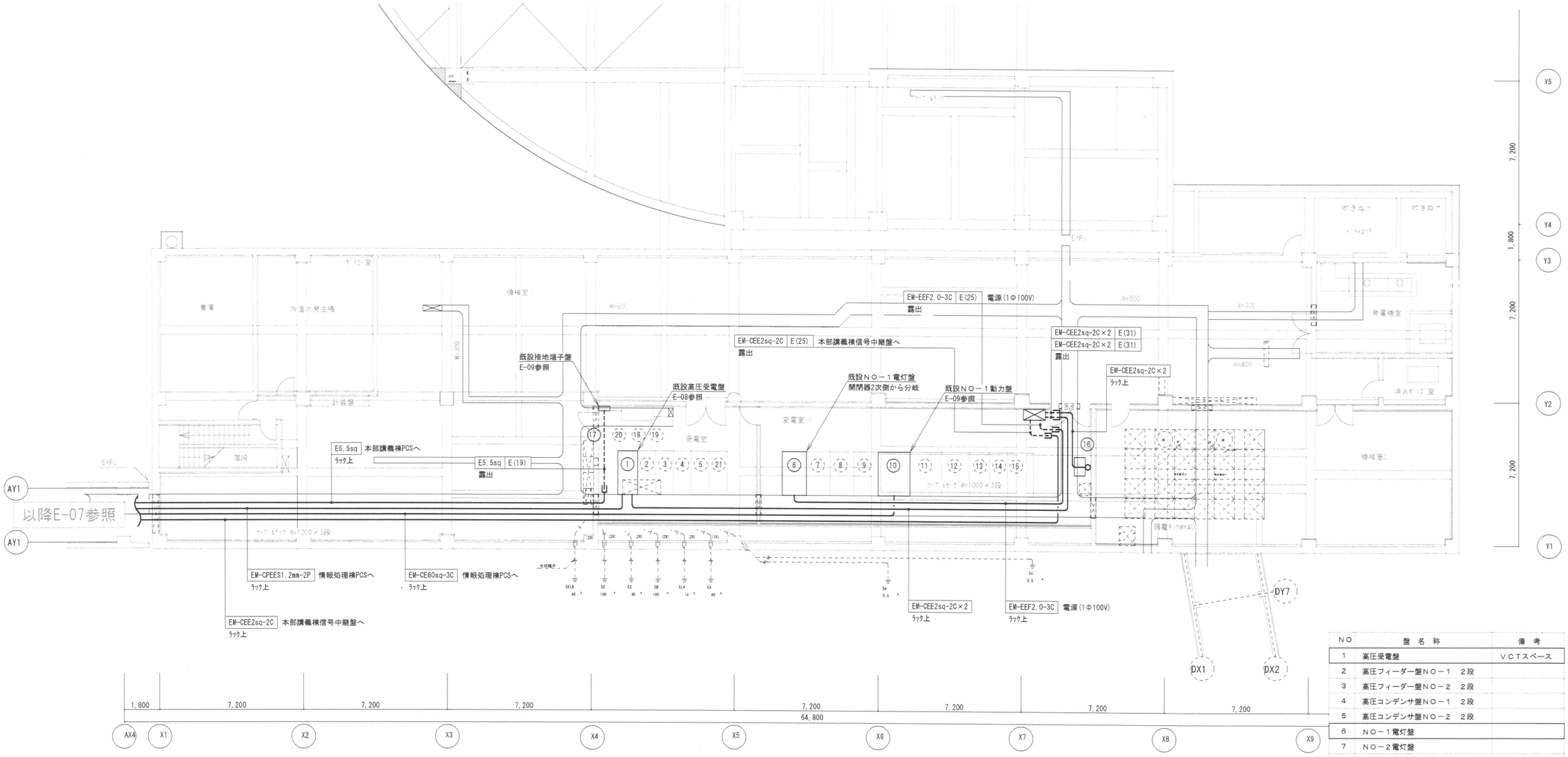
既設キュービクルの開閉器×1を取替える

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所

一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　飽津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	DATE 2025. 01	NO. E 09/16
飽津	川合	NAME	受変電設備　動力盤結線図（情報メディアセンター棟）	SCALE － (A2) － (A3)	



NO	盤名称	備考
1	高圧受電盤	ＶＣＴスペース
2	高圧フィーダー盤ＮＯ－１　２段	
3	高圧フィーダー盤ＮＯ－２　２段	
4	高圧コンデンサ盤ＮＯ－１　２段	
5	高圧コンデンサ盤ＮＯ－２　２段	
6	ＮＯ－１電灯盤	
7	ＮＯ－２電灯盤	
8	ＮＯ－３電灯盤	
9	ＮＯ－４電灯盤	
10	ＮＯ－１動力盤	
11	ＮＯ－２動力盤	
12	非常動力盤	
13	非常電灯盤	
14	蓄熱受電盤	ＶＣＴスペース
15	蓄熱動力盤	４４０Ｖ
16	ソーラー系統連系盤	太陽光発電設備
17	接地端子盤	下部ダクト付
18	蓄電池盤	蓄電池設備
19	ＤＧＰ盤	中央監視設備
20	ＷＨＭ盤	スペース
21	高圧鎖電盤Ｎｏ３	スペース

注　記

1. 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
2. 図中、太線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙを新設すること。
3. 図中、細線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙは既設を示す。

記号	名称	摘要
⊠	手動復帰操作盤	参考姿図参照　新設

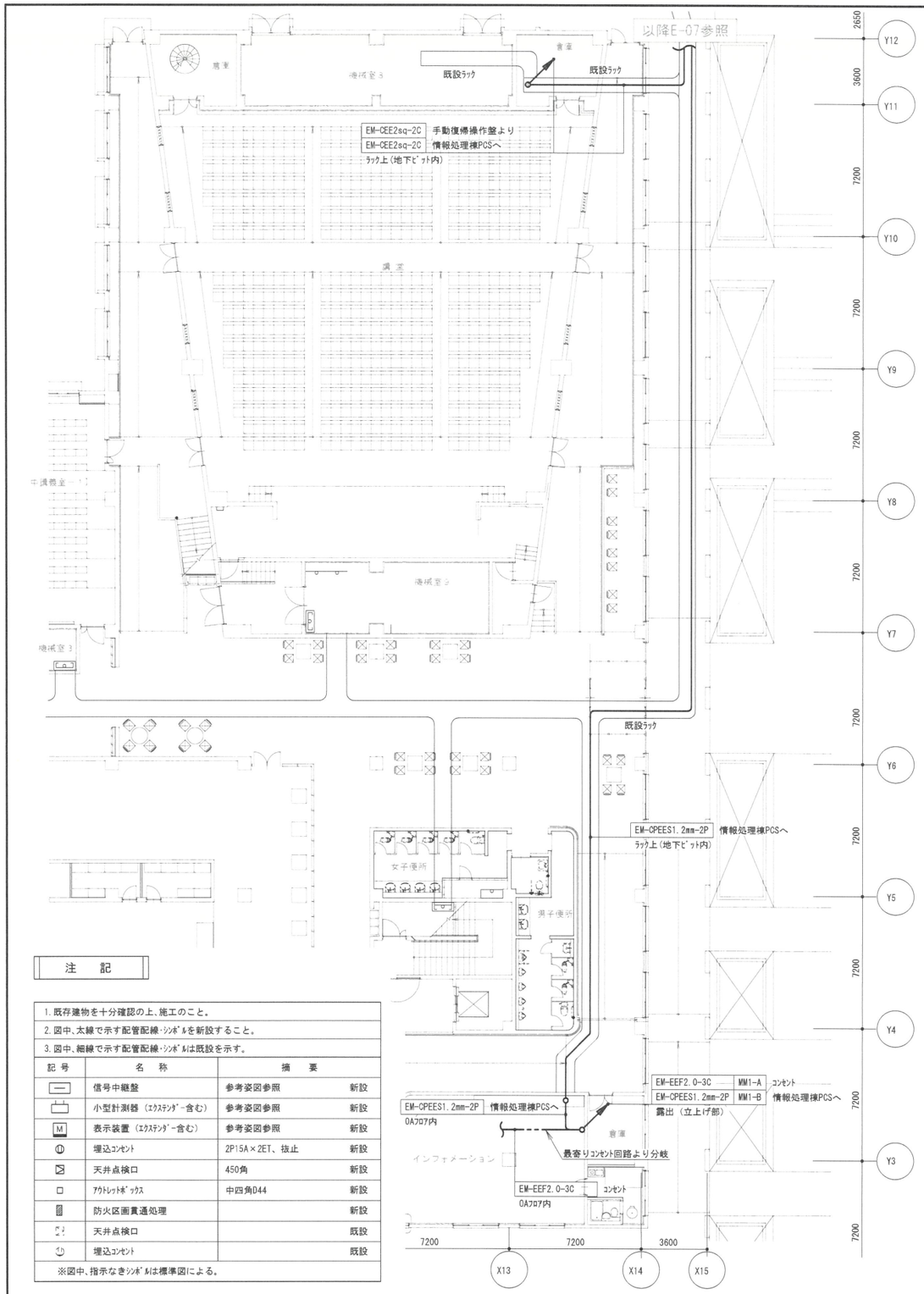
※図中、指示なきｼﾝﾎﾞﾙは標準図による。

情報メディアセンター棟 地下階平面図 S=1/150

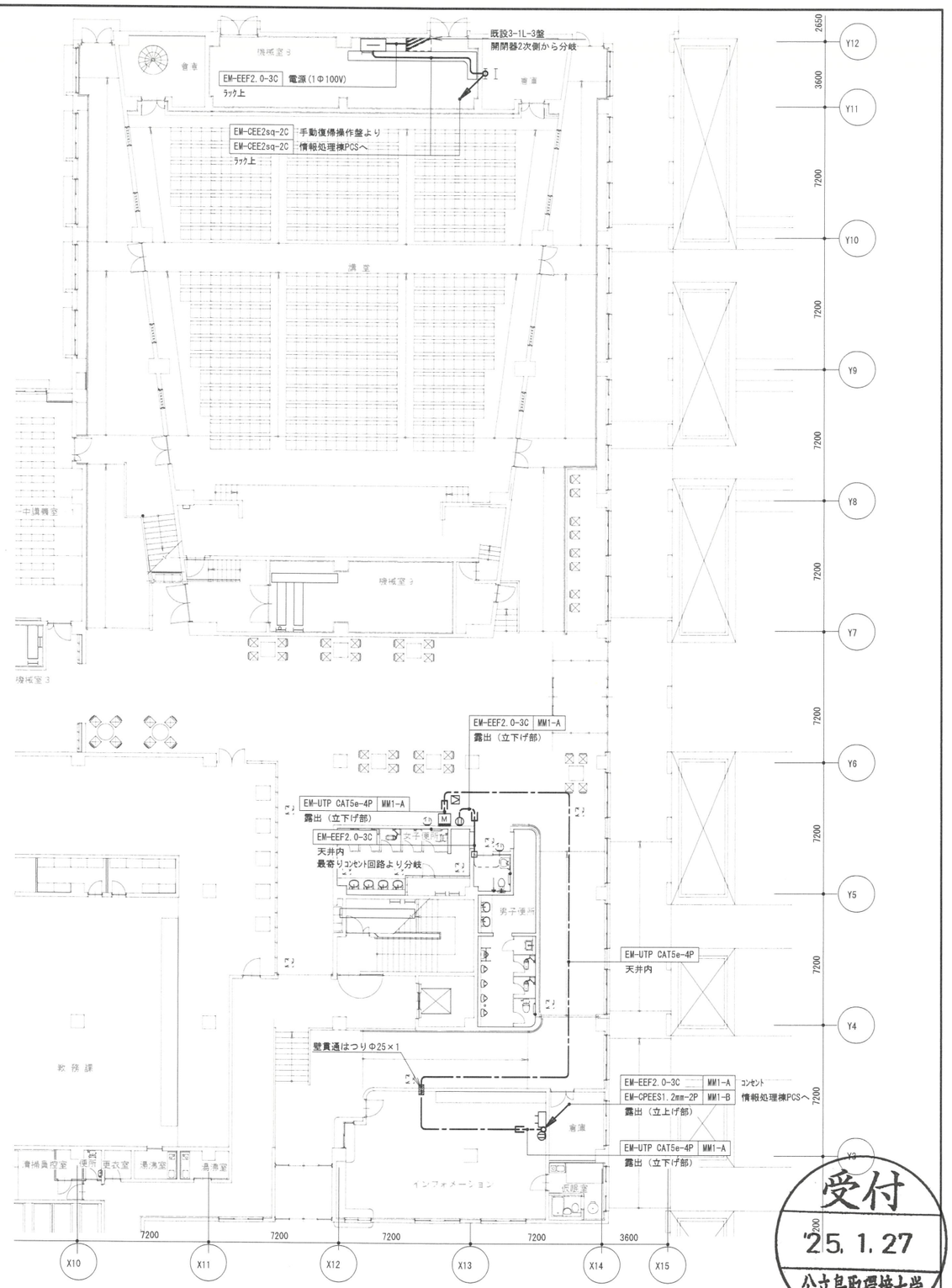
受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　笹津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044NO号

CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
笹津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025. 01	E 10/16
		NAME 地下階平面図（情報メディアセンター棟）	SCALE 1/150 (A2) 1/212 (A3)	



本部講義棟 地下ピット 平面図 S=1／200



本部講義棟 1階 平面図 S=1／200

注 記

1. 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
2. 図中、太線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙを新設すること。
3. 図中、細線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙは既設を示す。

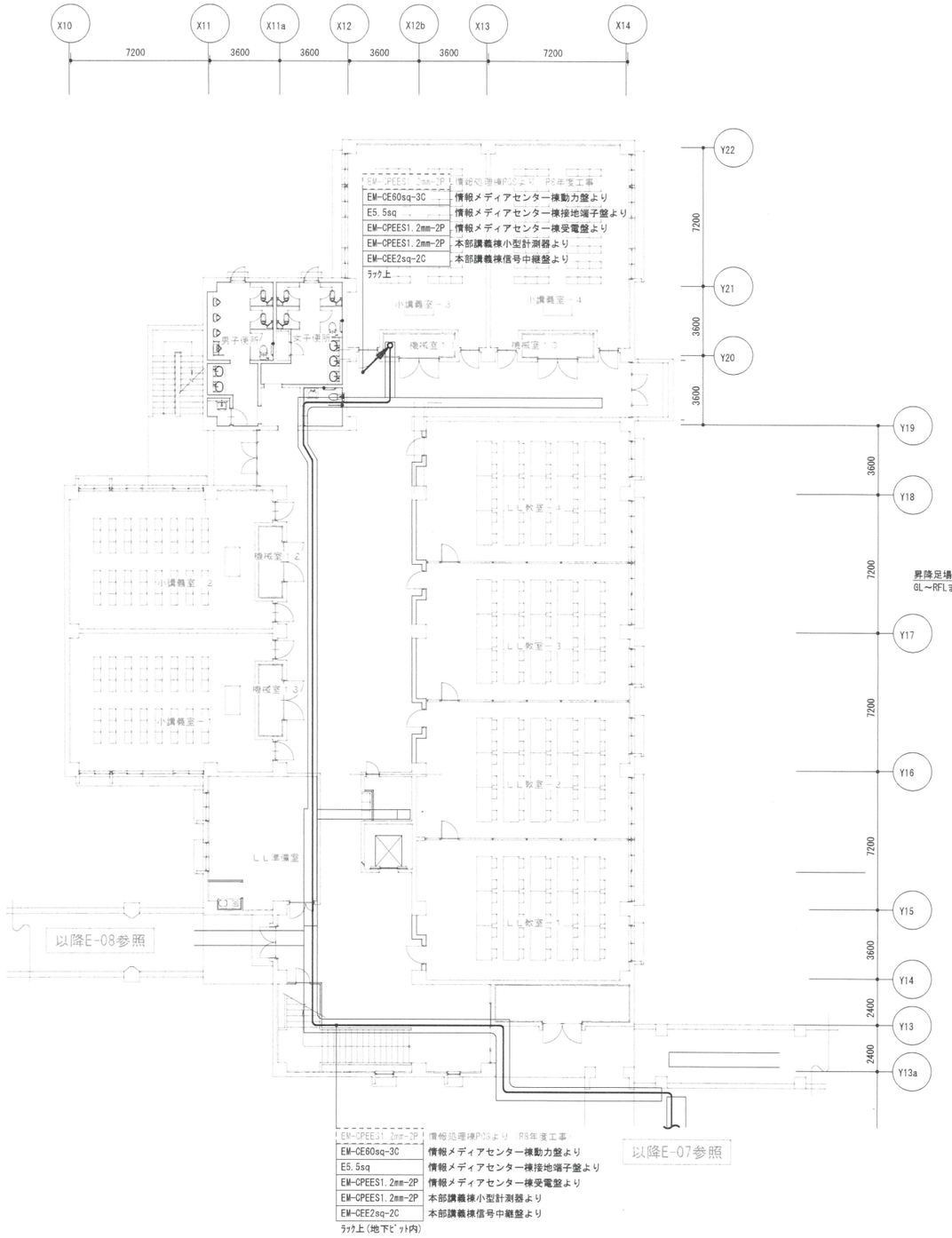
記号	名称	摘要	
	信号中継盤	参考姿図参照	新設
	小型計測器（ｴｸｽﾃﾝﾀﾞｰ含む）	参考姿図参照	新設
M	表示装置（ｴｸｽﾃﾝﾀﾞｰ含む）	参考姿図参照	新設
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2ET、抜止	新設
	天井点検口	450角	新設
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	中四角D44	新設
	防火区画貫通処理		新設
	天井点検口		既設
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ		既設

※図中、指示なきｼﾝﾎﾞﾙは標準図による。

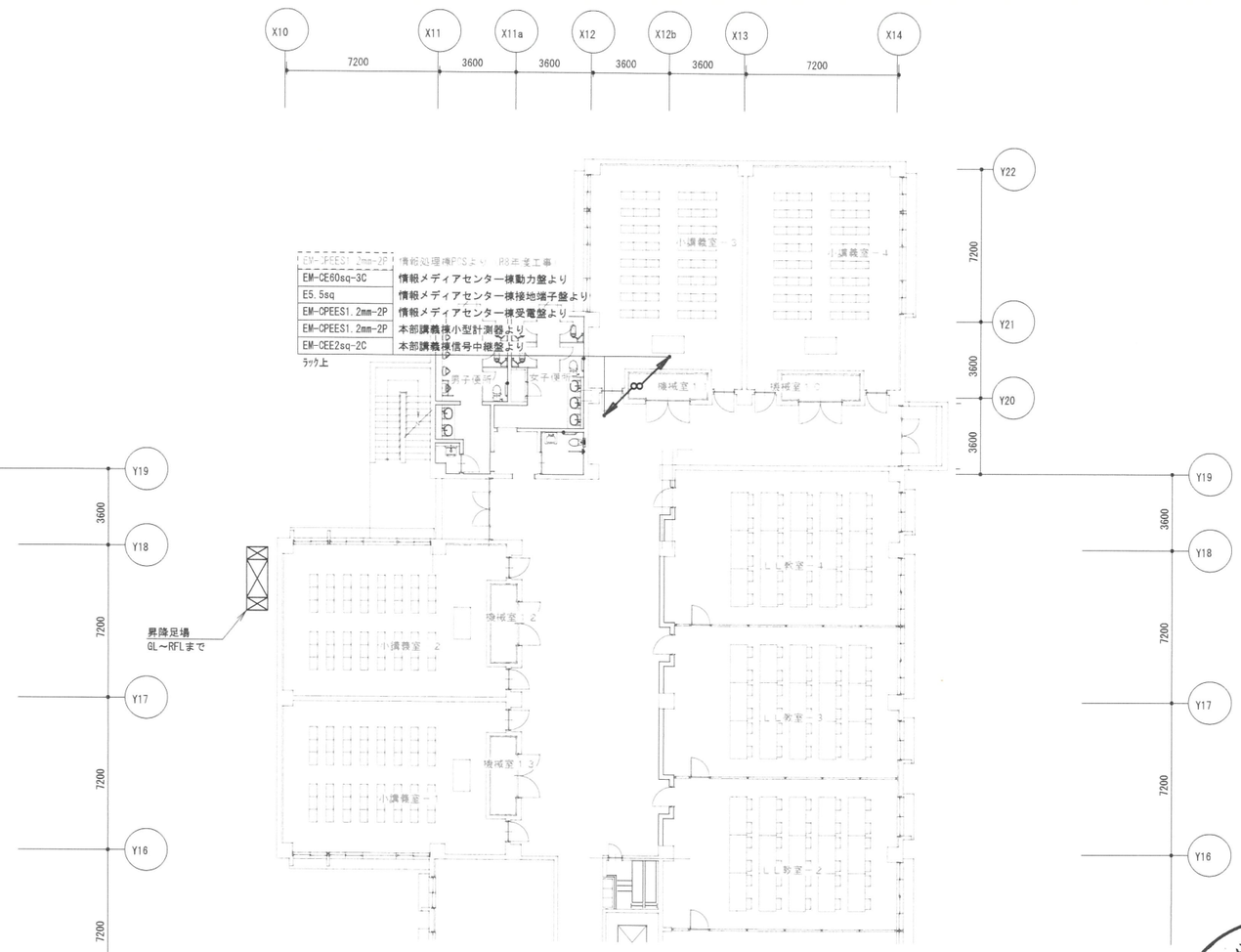
受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号
建築設備士 笹津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	DATE 2025. 01	NO. E 11/16
笹津	川合	NAME	地下ピット・1階平面図（本部講義棟）	SCALE 1／200（A2） 1／282（A3）	



情報処理棟 地下ピット 平面図 S＝1／200



情報処理棟 1階 平面図 S＝1／200

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

凡　例

1. 既存建物を十分確認の上、施工のこと。	
2. 図中、太線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙを新設すること。	
3. 図中、細線で示す配管配線・ｼﾝﾎﾞﾙは既設を示す。	

記号	名称	摘要	
PCS	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ	参考姿図参照	新設
⊠A	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ	SS300×300×300C 強電用	新設
⊠B	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ	SS250×250×200C 制御用	新設
⊠C	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ	SS400×400×300WP-SUS SP付	新設
▨	防火区画貫通処理		既設
▢	天井点検口		既設

※図中、指示なきｼﾝﾎﾞﾙは標準図による。

注　記

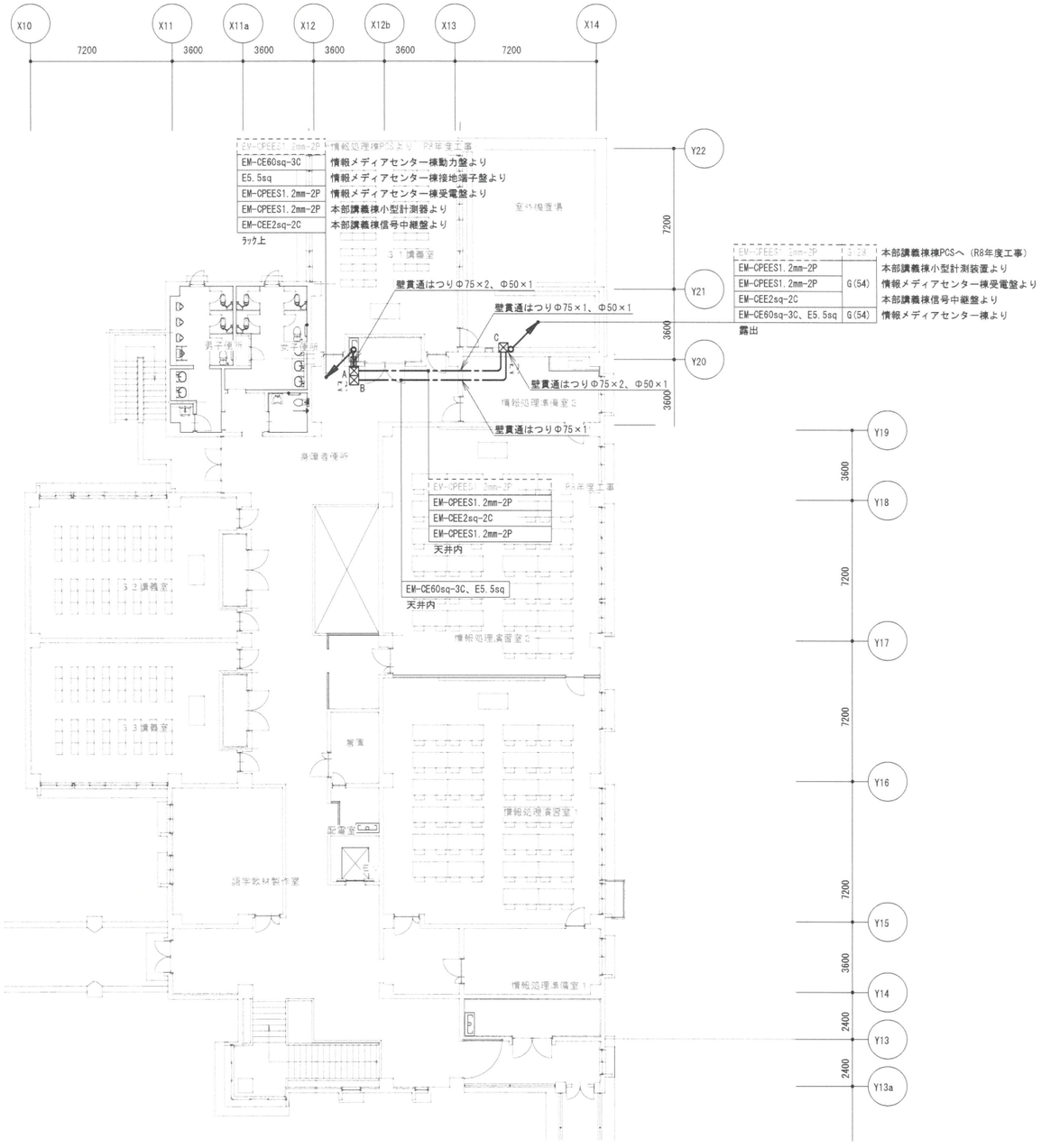
1. 図中、指示なき配管配線は下記による。			
8	専用ｹｰﾌﾞﾙ 5.5sq-1C×8、E5.5sq	ﾗｯｸ上	新設
4	専用ｹｰﾌﾞﾙ 5.5sq-1C×4、E5.5sq	ﾗｯｸ上	新設
3	専用ｹｰﾌﾞﾙ 5.5sq-1C×3、E5.5sq	ﾗｯｸ上	新設
2	専用ｹｰﾌﾞﾙ 5.5sq-1C×2、E5.5sq	ﾗｯｸ上	新設
	専用ｹｰﾌﾞﾙ 5.5sq-1C×1、E5.5sq	ﾗｯｸ上	新設

2. 図中、壁貫通部は鉄筋探査を行い、鉄筋切断を行わないようにすること。
3. 強電と弱電のｹｰﾌﾞﾙは接触しないよう適切に敷設を行うこと。
4. 防火区画貫通部は適切に処理すること。
5. 太陽光発電ﾊﾟﾈﾙ架台基礎は別途建築工事にて設置するため、別途建築工事と位置等について最終調整を行うこと。

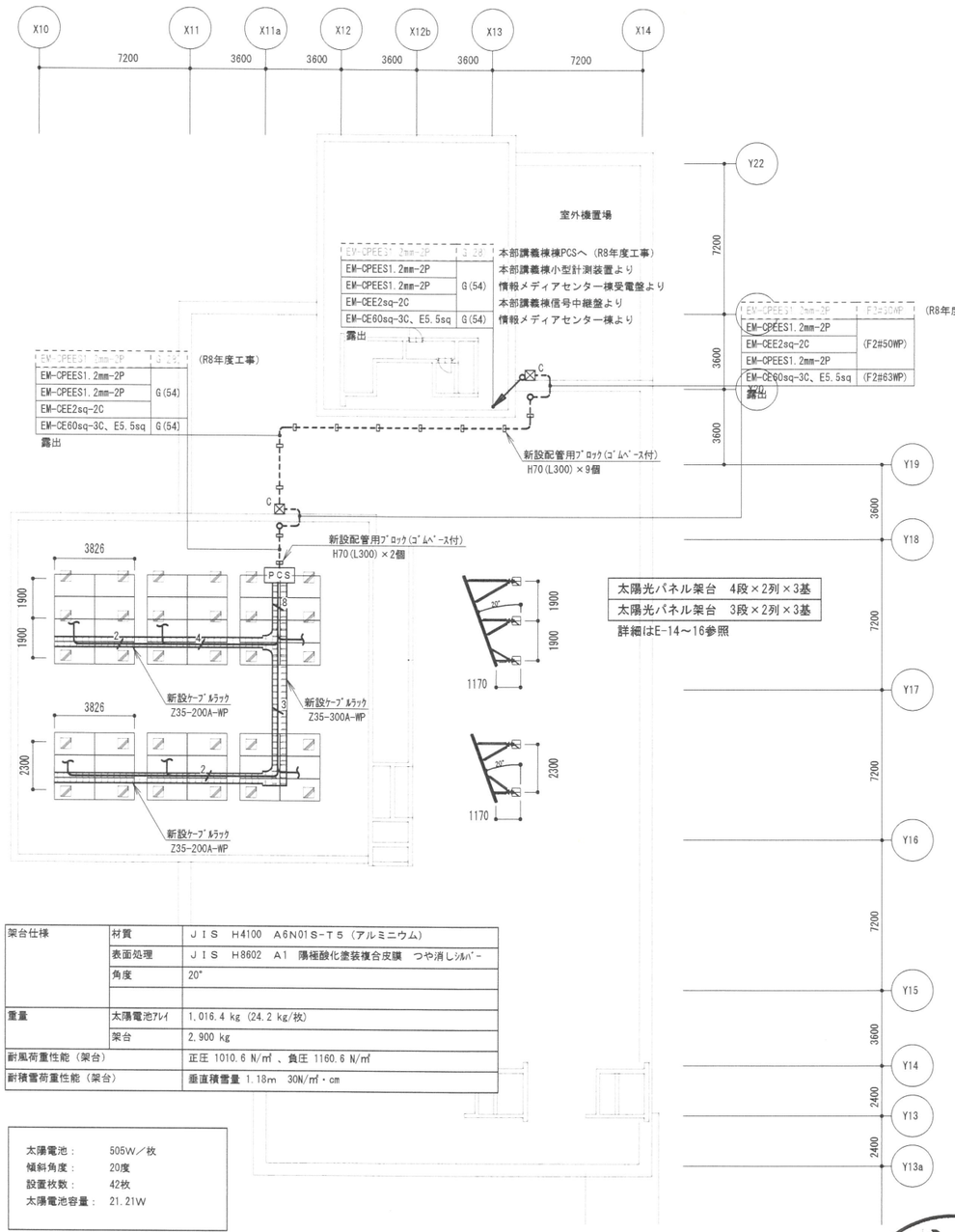
Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　笹津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK	DRAW	TITLE	DATE
笹津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025. 01
		NAME 地下ピット・1階平面図（情報処理棟）	SCALE 1／200（A2） 1／282（A3）

NO. E 12/16



情報処理棟 2階 平面図 S=1／200



架台仕様	材質	ＪＩＳ H4100 A6N01S-T5（アルミニウム）
	表面処理	ＪＩＳ H8602 A1 陽極酸化塗装複合皮膜 つや消しｼﾙﾊﾞｰ
	角度	20°
重量	太陽電池ｱﾚｲ	1,016.4 kg (24.2 kg/枚)
	架台	2,900 kg
耐風荷重性能（架台）		正圧 1010.6 N/㎡ 、負圧 1160.6 N/㎡
耐積雪荷重性能（架台）		垂直積雪量 1.18m 30N/㎡・cm

太陽電池： 505W／枚
傾斜角度： 20度
設置枚数： 42枚
太陽電池容量： 21.21W

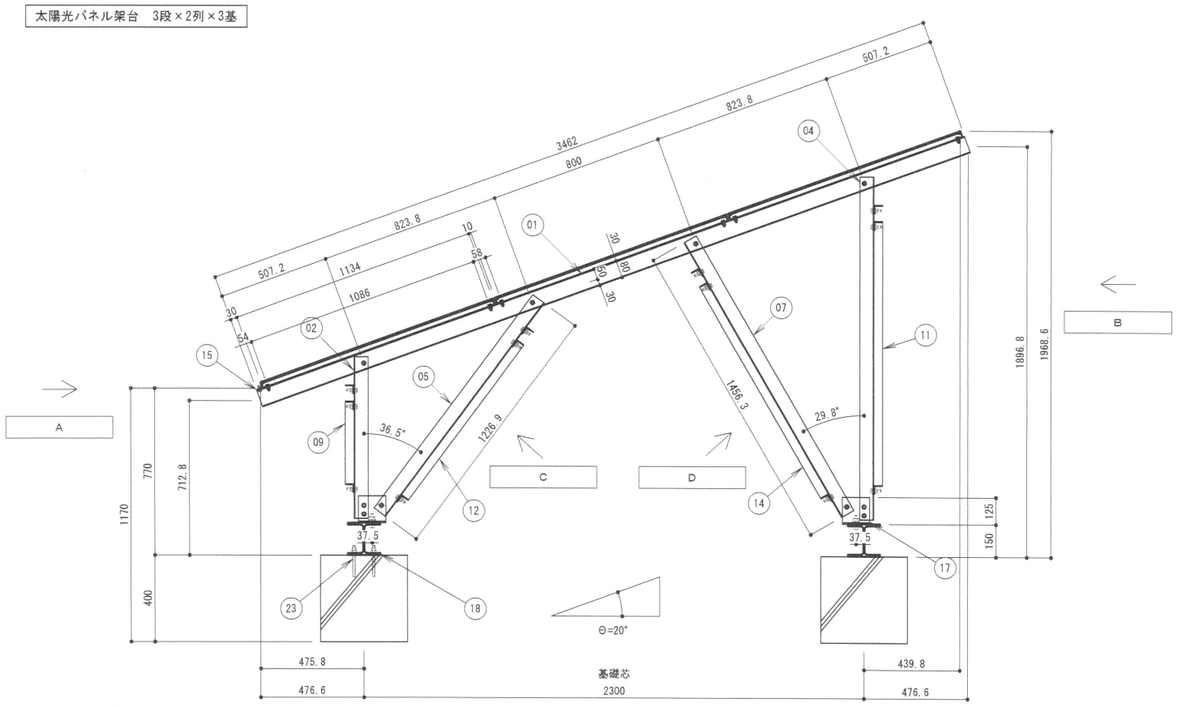
情報処理棟 R階 平面図 S=1／200

受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号
建築設備士 筧津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号

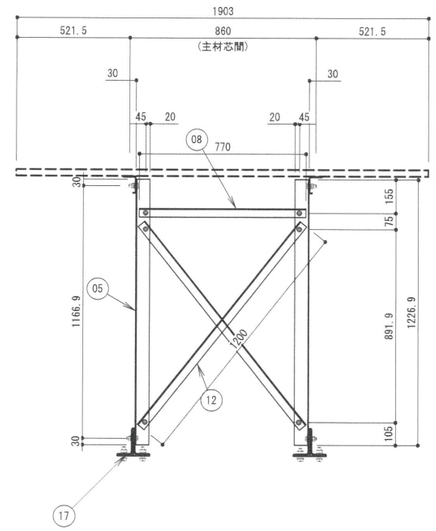
CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
筧津	川合	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	2025. 01	E 13／16
		NAME 2・R階平面図（情報処理棟）	SCALE 1／200（A2） 1／282（A3）	

太陽光パネル架台　3段×2列×3基

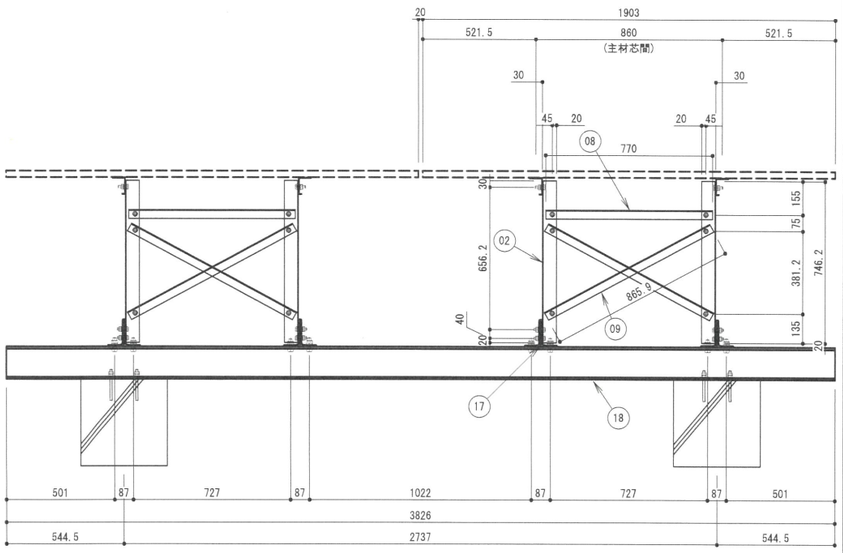


品番 PARTS No	品　名 PARTS NAME	材　料
01	主材 [-80×60×4.0t	JIS H 4100 A6N01S-T5
02	柱材 L-65×65×4.0t （前）	
03		
04	柱材 L-65×65×4.0t （後）	
05	斜材 L-65×65×4.0t （前）	
06		
07	斜材 L-65×65×4.0t （後）	
08	繋材 L-40×40×4.0t	
09	ブレス材 L-40×40×4.0t （前）	
10		
11	ブレス材 L-40×40×4.0t （後）	
12	ブレス材 L-40×40×4.0t （斜前）	
13		
14	ブレス材 L-40×40×4.0t （斜後）	
15	積雪補強材 L-30×30×4.0t	
16		
17	ベース材 L-125×75×7.0t L=125	SS400 HDZ55
18	ベース梁 H-150×150×7×10	
19	六角ボルトM8×25、W×2、SW×1、N×1	JIS G 4315) SUS304相当材
20	六角ボルトM12×40、W×2、SW×1、N×1	ボルト、SW、N（生地）
21	六角ボルトM12×50、W×2、SW×1、N×1	W（ジオメット処理）
22	六角ボルトM16×55、W×2、SW×1、N×1	どぶめっき
23	あと施工アンカーM12、W、N×2、保護キャップ	JIS G 4315) SUS304相当材　生地

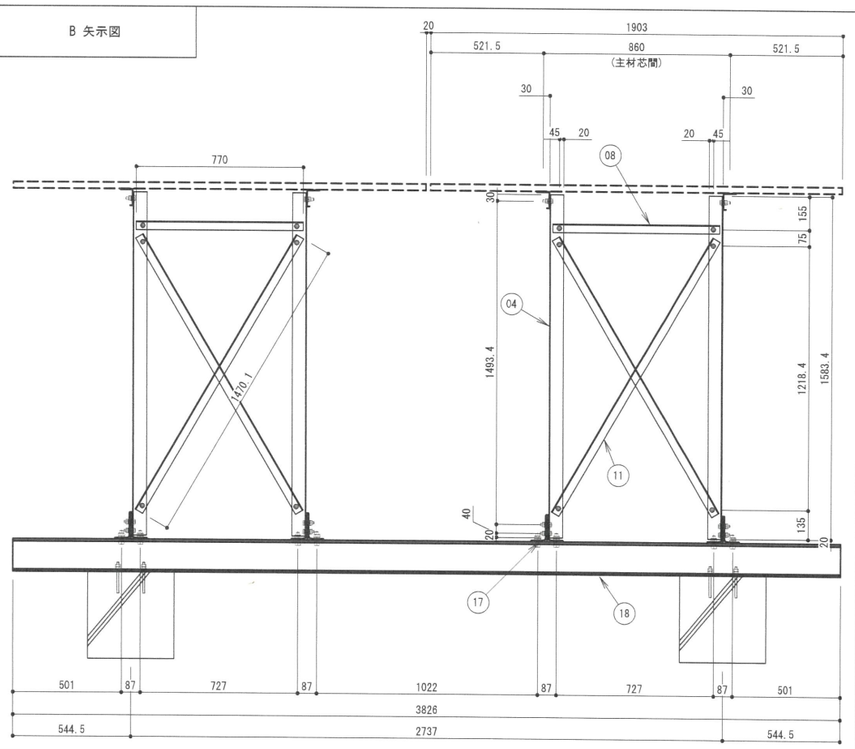
C 矢示図



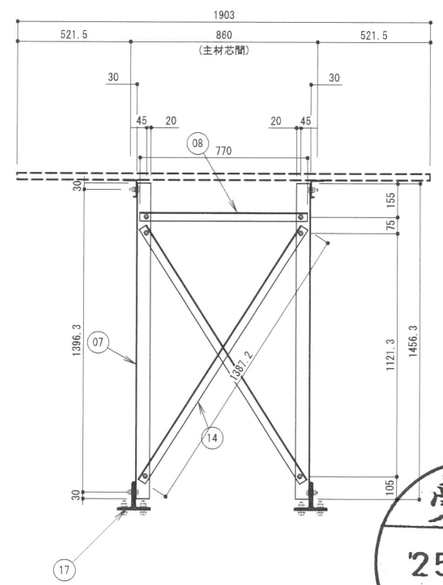
A 矢示図



B 矢示図



D 矢示図



受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　笹津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

CHECK 笹津　DRAW 川合

TITLE　情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）

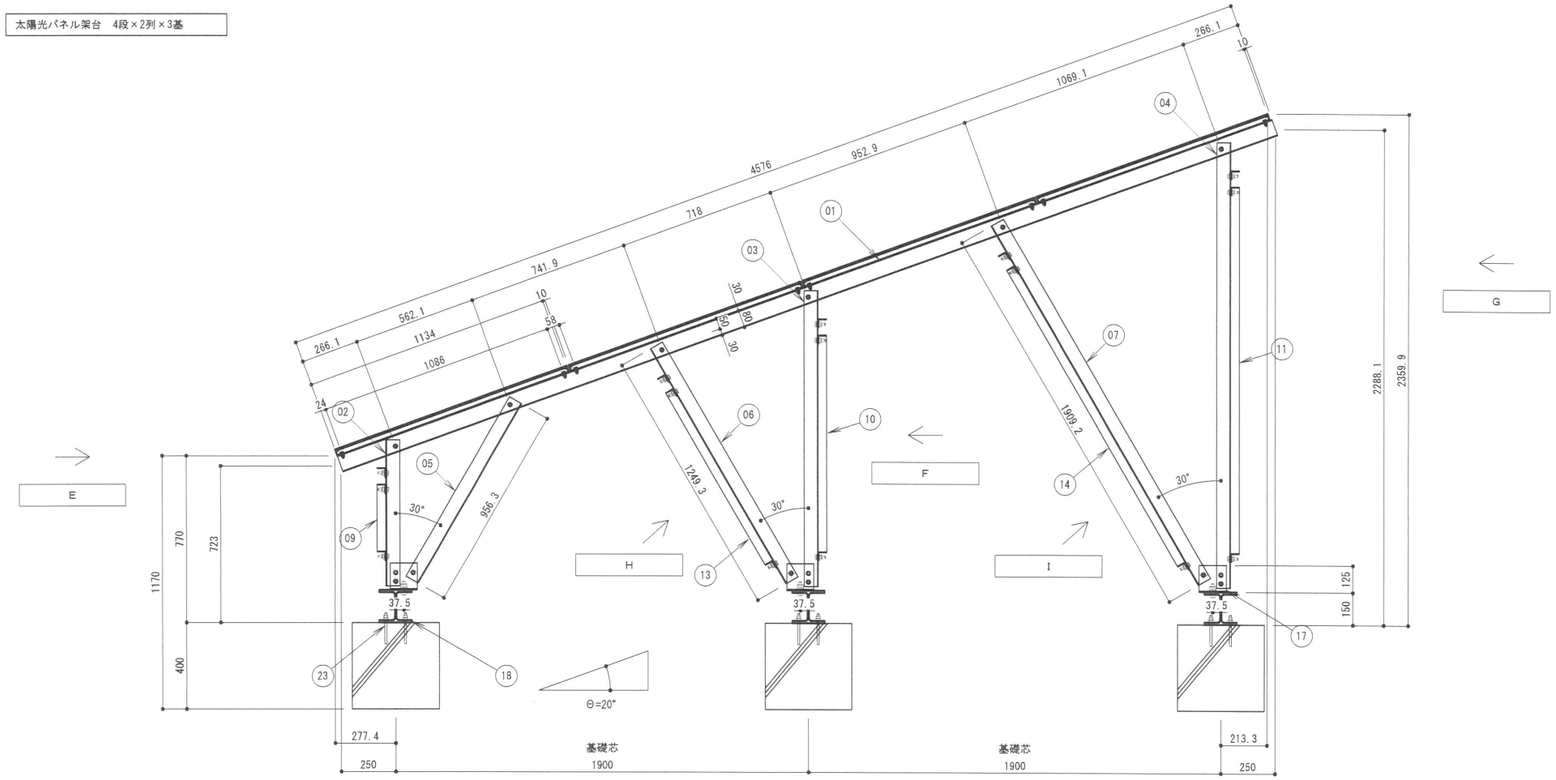
NAME　太陽光パネル架台　参考図（1）

DATE　2025. 01

SCALE　1／20（A2）　1／28（A3）

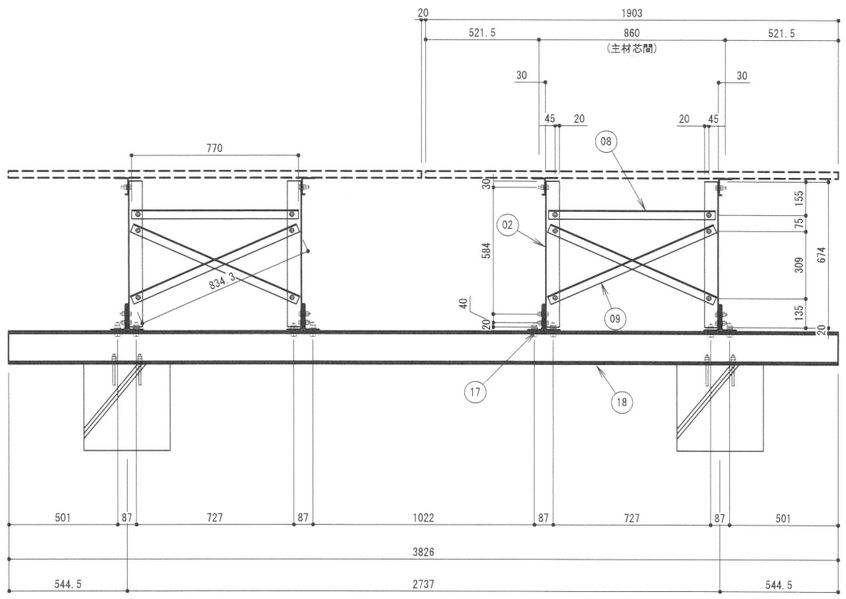
NO.　E　14／16

太陽光パネル架台　4段×2列×3基

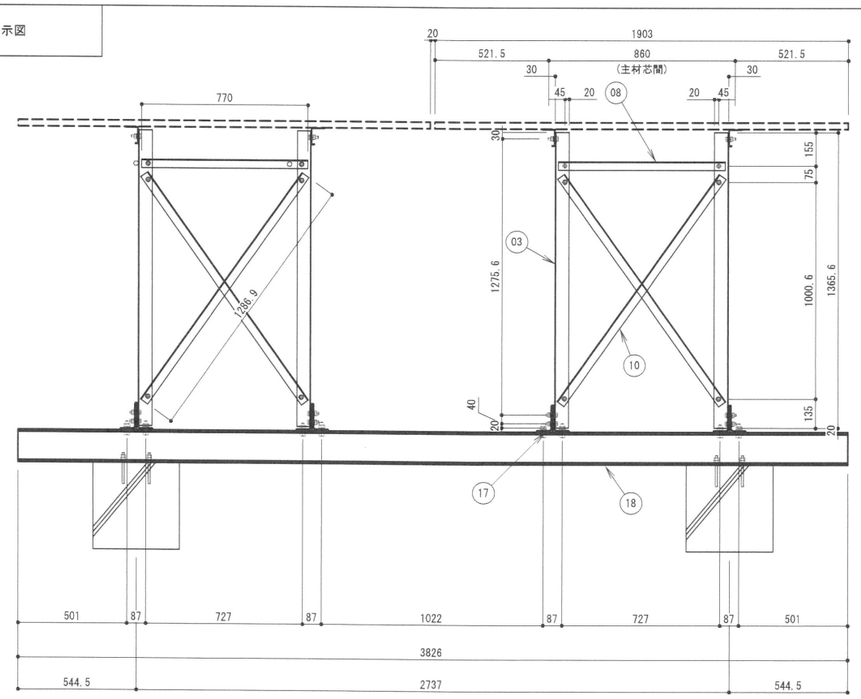


品番 PARTS No	品　名 PARTS NAME	材　料
01	主材 [-80×60×4.0t	JIS H 4100 A6N01S-T5
02	柱材 L-65×65×4.0t （前）	
03	柱材 L-65×65×4.0t （中）	
04	柱材 L-65×65×4.0t （後）	
05	斜材 L-65×65×4.0t （前）	
06	斜材 L-65×65×4.0t （中）	
07	斜材 L-65×65×4.0t （後）	
08	繋材 L-40×40×4.0t	
09	ブレス材 L-40×40×4.0t （前）	
10	ブレス材 L-40×40×4.0t （中）	
11	ブレス材 L-40×40×4.0t （後）	
12		
13	ブレス材 L-40×40×4.0t （斜中）	
14	ブレス材 L-40×40×4.0t （斜後）	
15		
16		
17	ベース材 L-125×75×7.0t L=125	SS400 HDZ55
18	ベース梁 H-150×150×7×10	
19	六角ボルトM8×25、W×2、SW×1、N×1	JIS G 4315) SUS304相当材
20	六角ボルトM12×40、W×2、SW×1、N×1	ボルト、SW、N（生地）
21	六角ボルトM12×50、W×2、SW×1、N×1	W（ジオメット処理）
22	六角ボルトM16×55、W×2、SW×1、N×1	どぶめっき
23	あと施工アンカーM12、W、N×2、保護キャップ	JIS G 4315) SUS304相当材　生地

E 矢示図



F 矢示図



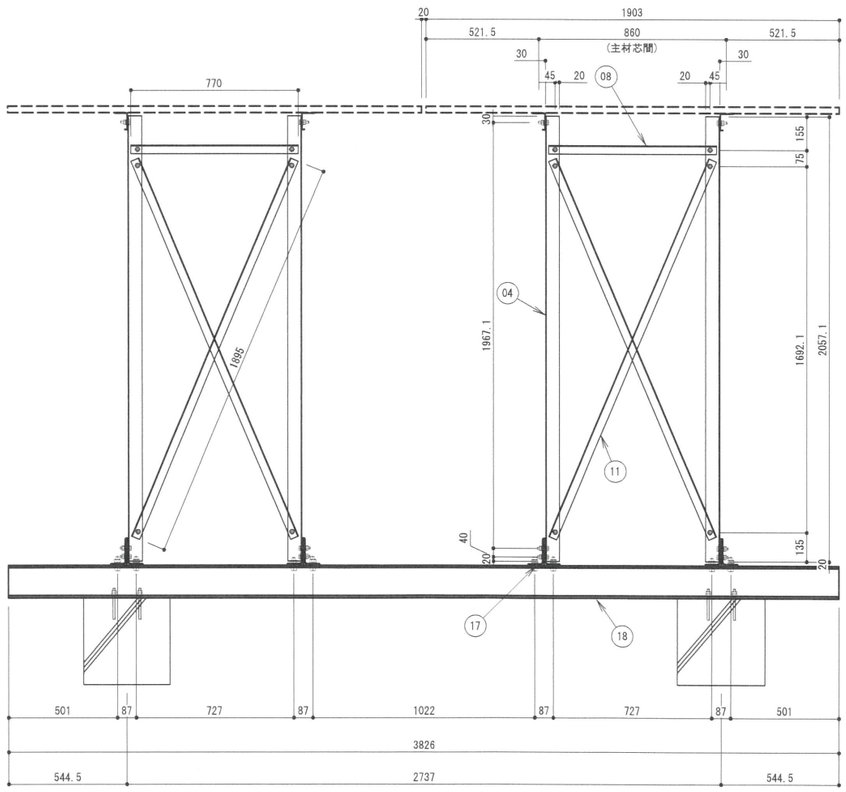
受付
25.1.27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology
株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所
一級建築士事務所　鳥取県知事登録　第04-1348号
管理建築士　森本博美　一級建築士登録　第103826号
建築設備士　篤津貴文　建築設備士登録　第24F1-0044N0号

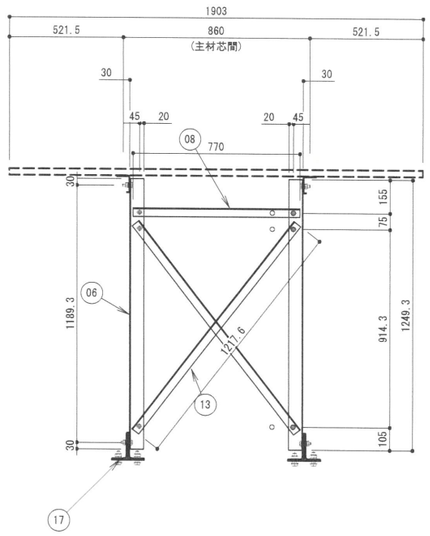
CHECK	DRAW	TITLE	情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	DATE 2025.01	NO. E 15/16
篤津	川合	NAME	太陽光パネル架台　参考図（2）	SCALE 1/20 (A2) 1/28 (A3)	

太陽光パネル架台　4段×2列×3基

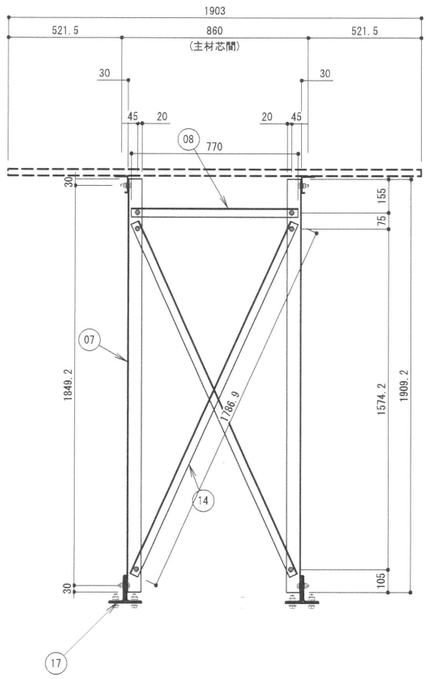
G 矢示図



H 矢示図



I 矢示図



受付
'25. 1. 27
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所／建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 笹津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK 笹津	DRAW 川合	TITLE 情報処理棟太陽光発電設備設置工事（電気設備）	DATE 2025. 01	NO. E 16/16
				NAME 太陽光パネル架台　参考図（3）	SCALE 1/20 (A2) 1/28 (A3)	